

特別
子12
3643
71(25)





大瓶得之

七騎為

除舟橋

除浮舟

合札

合利

吉野天人

雲梯院

正角

九世

除井筒

生田教盛

合札

外社別年

嵐山

除錦木



代主

楊貴妃

留土右被

本部

江島

海人

禪師系

十七名向

大親



一 口羊殺ノ通り

一 初シテ 徳久地ノ地

一 三ツ子 尾次 先付遊着 往水衣 腰帯 血紅子

一 後シテ 赤坂 尾付遊着 赤坂才切 赤坂才切

一 赤坂才切 但シテ斗屋城守ノ上ニ先 柄取右ノ遊着

一 血紅子

一 ツヒ人 但シテ口以 但シテ口以 腰帯ハ伴打ニ下入

一 花

一 一也イ美紙 三原目は中幕上 正前口ケテ神シ由ニ赤

一 出シテ柱ノ先ヲ是ト又 額 日影式トニ是クツケ

一 姫シヤト半へ向 リラト内ニ入ト馬半へ出テ下ニ居

一 琴詩酒トト向也 心カシヤカソ冥ト半へ向

一 早ノ刊ニ向 今ハ何ヲカツムハキト早へ

一 早ノ刊ニ向 今ハ何ヲカツムハキト早へ

一 早ノ刊ニ向 今ハ何ヲカツムハキト早へ

顔ヒ玉フナコラフウトトイ立テウキツシカトリ

メノ空モトウ^ルモ^レノメノ空モトウキヘ向

眼^アテ^ラウ^ハト^テト^面下^ケテ^ウク^ルモ^レト^立

行カト見^ルハ^ウツ^リト^右へ^抑コ^シト^シテ^柱ノ

先^ニテ^流モ^見ヘ^ス成^ニケ^リト^ウノ^用面^体

モ^レシ^ニ延^ビテ^右ト^リライ^ノ席^ニテ^申入

間^ニテ^リ席^ヲテ^テ後^見テ^入蓋^ヲ持^テ幕^{ヨリ}ハ^正面^先ノ

一^ナカ^リハ^一辰^ハ幕^上前^ノツ^シ西^南ウ^ケテ^テ

解^シ直^シお^のこ^ハ前^ノツ^シ小^櫃ノ^おア^トノ

ツ^シテ^柱ノ^先ニ^テオ^カリ^ハノ^トメ^ニ一^同ニ

左^右オ^ケト^用テ^解ツ^直シ^ニニ^キト^キリ^ト地^極ニ

比^モ早^ク紅^葉ノ^トハ^ウテ^用テ^為キ^紅葉^ハト

コ^レニ^存ニ^カハ^上ツ^ルノ^方ク^リ又^廻シ^テ用

幕^ノ蓋^至直^トニ^人ナ^カラ^幕ノ^側ヘ^カ

秋^ノ夜^深ク^待ケ^ルニ^トニ^人ナ^カラ^幕ノ^上リ

直^ニト^ニ戻^ル石^思候^ヤ候^ハノ^ト向^右テ^極

返^シニ^正ス^ル沖^ニ向^ヒテ^トニ^人ナ^カラ^幕ヲ^捲キ^リ

幕^ノ方^ヲ向^テ遠^ニ見^マル^モ左^ヲツ^リテ^幕ヲ^捲キ^リ

ツ^シテ^後ツ^シト^ハン^オカ^リハ^二辰^ニ辰^目乃^ハテ^テ

一^ツシ^テ後^ツシ^トハ^ンオ^カリ^ハ二^辰辰^目乃^ハテ^テ

又^一ツ^シテ^後ツ^シト^ハン^オカ^リハ^二辰^ニ辰^目乃^ハテ^テ

二人^ナカ^ラ右^ヲテ^用テ^為キ^紅葉^ハト

一オカリハノト又左を流ニテハ家斗サ返ニ折
右サ返シカサテ又折ルハ流ハシカテト流

彼カウフワニト三人ナカラ星ノ向波間ヲ行
三人ナカラ舞臺又汀モ遠ク見ハレタリトホノ
前ハ三人程ヨリ並ヒ正向見ト丸

又
一は間ヲカテトシテ斗大クサシカシテ
舞臺ノ入テモ

比ハ秋ノ夜月面白クト三人ナカラ
領ヲトリテ西ノ上ヲ見 但シテ斗面垂イテモ 歩返ニ

三人ナカラ
シラトケテ向ニ坐シ 汀ノ浪モ更替セリテト

ニテ斗右ヲウケ アニタノ燈々ト向ニ坐シ舞臺

舞臺ノ例ハリ但ホニナカラニ返ヒロケテ

地味ノ
オヤサマノ形ヲ左ノ向ニ持 右ニテ腰ノ

柄投ツヌキテ右ニ持 泉ノロウ元トソ見ヘシカト

目差ヘ上リ

初ニカ先ニ人ノ見

一 數多ク燈々大籠ニ上リト 正面ヨリ女右ノ方

向テ三人ナカラ立 白米ノロウ元トソ見ヘシカト

左ノ方ノ燈々臺ノロウ元トソ見ヘシカト

臺ノトヘモタシ立 右ノ方ノ燈々白米ノロウ元ト

ノ方向見テ見ル 涌上リ涌流シト見三人

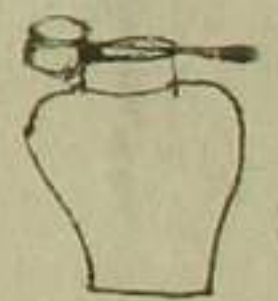
ナカラ臺ヨリトリ左ノ方ヘトリテ二人

持ヨリ一行 何シモ名ムレ舞トカヤト

ニテ三人ナカラハメノ方ハカリニ飛舞

涌上リ涌流シ流ルノト柄投ツヌキ臺ノ中へ入シテ

級上左ノ方カ上テ級入ル地通りニ度スル

お世又泉ト柄取シ壺の上へノセテ也 

何シモ夕ムレト右トリテ壺ノ中ヨリ下リ壺底ニ

ナカラ大少^ハハ^ハ行^ハリ^ハ三人並ヒハセリニ^ハ行^ハ線

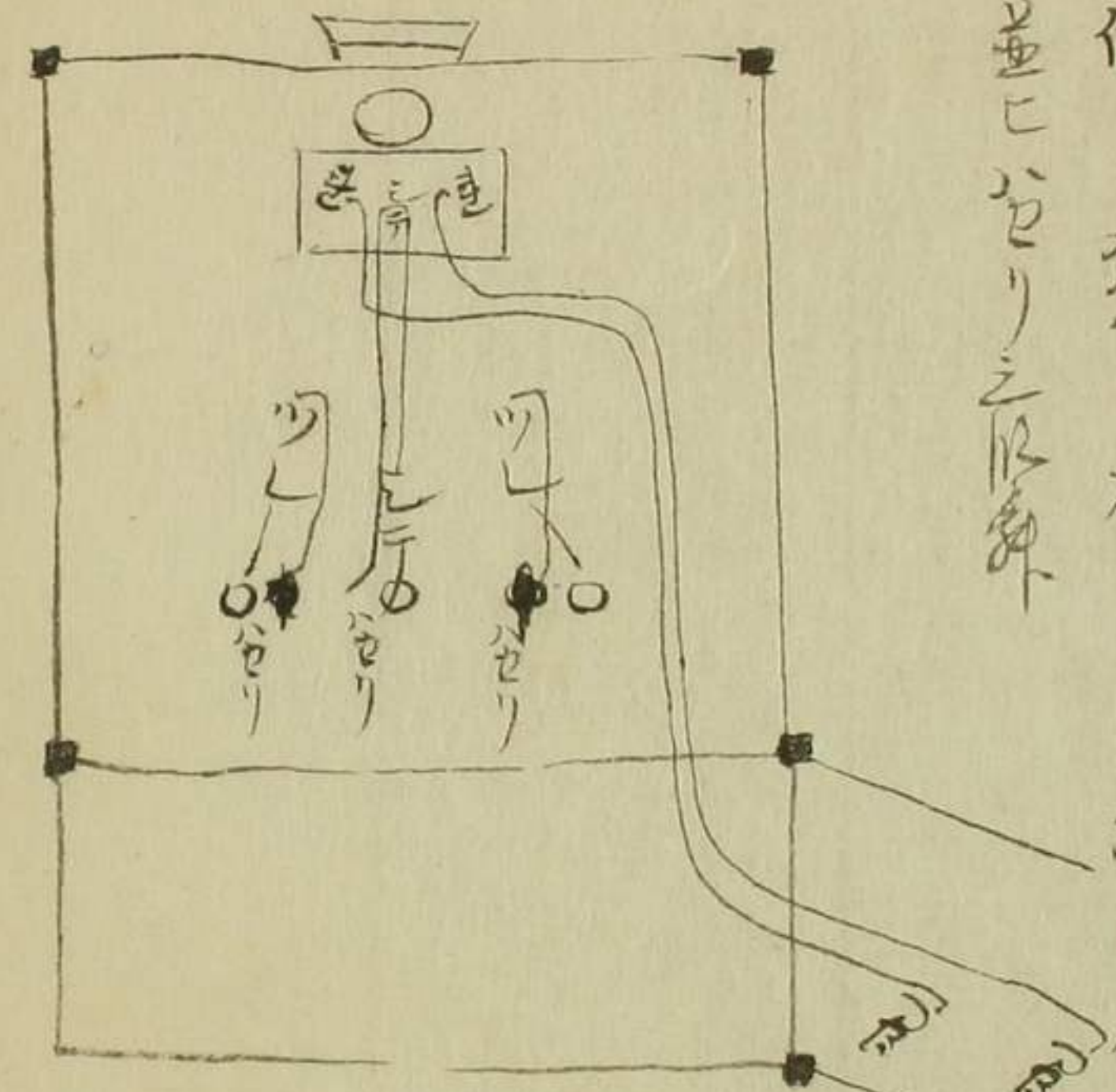
左右ニ立タル也

一 夥多ク^ハ大^ハ純ニ上リト二人ナカラ壺ノ中

向見テ^ハ中^ハ之^ハ程ニテ^ハノ^ハ汲^ハと見^ハテ^ハ見^ハル

何シモ夕ムレト右トリテ大ウ^ハハ^ハ行^ハリ^ハ二人

並ヒハセリニ^ハ行^ハ線



又

涌上リ涌流シ汲トモ^ハ又泉何シモ夕ムレ

兼トカヤト^ハ極^ハハイニ^ハ二^ハ層^ハ因^ハテ^ハ壺^ハノ^ハ上^ハハ^ハ柄^ハ取^ハシ

ノ也 兼ニナリテ右トリテ壺ヨリ下リ^ハ壺^ハ底^ハニ

ツレテ^ハ角^ハ丈^ハ也^ハ内^ハニ^ハ挿^ハニ^ハ大^ハウ^ハハ^ハ行^ハリ^ハツ^ハヒ^ハマ^ハラ

ホウ^ハク^ハヒト^ハ目^ハ付^ハ柱^ハノ^ハ方^ハ向^ハ看^ハ上^ハ時^ハ左^ハ右^ハツ^ハレ^ハト

同^ハ根^ハニ^ハ並^ハビ^ハ看^ハ上^ハシ^ハ汲^ハ日^ハ以^ハリ

右ノ如クニテモヨシ

之^ハ根^ハニ^ハ兼^ハニ^ハ目^ハ付^ハシ^ハリ^ハシ^ハノ^ハ壺^ハノ^ハ上^ハハ^ハ行^ハリ^ハニ^ハテ^ハ之^ハ用

ニテ^ハ柱^ハ也

同ノ如ク^ハ向^ハ右^ハマ^ハヨリ^ハ例^ハノ^ハ如^ハク^ハ仕^ハ回^ハニ^ハ立^ハセ^ハテ

ニ^ハ柱^ハノ^ハキ^ハリ^ハヲ^ハ以^ハテ^ハヨリ^ハ何^ハカ^ハケ^ハ角^ハト^ハリ^ハ汲^ハシ^ハテ^ハツ^ハト

アト^ハニ^ハツ^ハキ^ハ角^ハ丈^ハ心^ハ付^ハニ^ハテ^ハ也^ハウ^ハ大^ハ勢^ハ入^ハシ

ワキ^ハノ^ハ者^ハヨ^ハク^ハシ^ハテ^ハ柱^ハノ^ハ方^ハノ^ハ用^ハ地^ハ及^ハア^ハト^ハリ^ハリ

但^ハ物^ハ色^ハヨ^ハリ^ハ見^ハテ^ハ人^ハ入^ハ替^ハナ^ハシ

三匠目 右へ看し折返し持右へ廻り時えのゆり
入替り 笛の方へ行どりオレテ右へ回り角へ

左へ廻り例ノ通りアトへ小廻りシテ

例ノ通 扇面へカサこつカ儀

一ま四人ナカス例のゆり小廻りシテ正へシテ申小廻りハカサ
スレハアトニ托有立
シニカハスルメニカサハ

右へ廻り左へ持但執巻シツルム右ツリテトニ兵

看し顔ノ上ハアテ、女座スルトメノシマラウ

け泉ト用扇止 是又宿ニト左右ニテハアトへ

サ込用 返シカツケ迄トワキ、是迄ナリヤ

か心看ツしノ紙ニ左へ九テ 解伏後ノトツレトワキ

母屋 覺ルト思へハトシテツレ五人ナカラ看下ケ

面上、 是又能上リト五人ナカラ云

一ツし四人ナカラ看右へ持テ盡ツリテ

常長柄ノ柄持ツ酒ツト

旧人ナカラ母屋之程ハテシテヲとテ互戻ル

常長柄ノ柄持ツ酒ツト看左ニ持テ先へ提テ

五ニ看右ナリ柄持ツ右ニ持 先ノゆり一戻後テ

看へ返アケテ

張カスス、メト右ツウケテ看前へ心 右ノ方。面

見 元ノ白水ニ傾リケレハト 柄持ツ元ノゆり看上ニ

宗五 何レをト右トリテ看ヨウトリ 看右ニ持

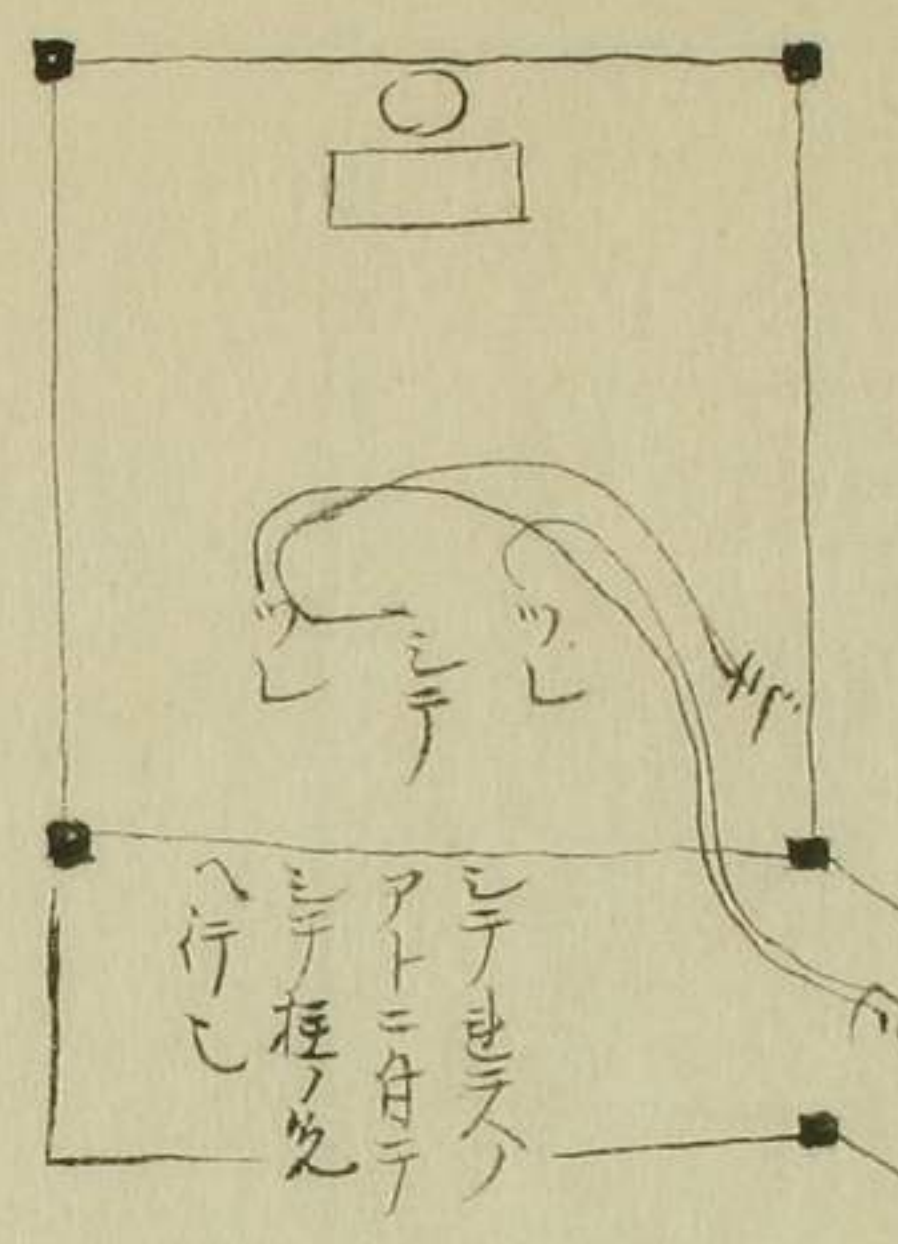
右トリテ看ノ看ニテ正ノ向 足モトハヨロ

大ゆおと 改シカリ シテ申カカリ振心在

一ツし四人ナカラヨウクヨウクトト

クリコト懸りトカシ暮ニテ右へ廻ルルニ
 舞臺ノワシテ人ハ階ヨリ一行 四人 班リ
 並ブ汝ニ 君子代とトカシ付テ足トメ

クリコト懸クトカシ暮ニテワシテ人ノ政ハツキテ
 右へ廻リニテ様ノ足ニテ 君子代とトト暮ノ足
 リレ付テ足トメ



カシノ
 千秋節 君子代とトト 五人ナカラ暮リシテ
 左へ廻リハツカシテ開 五人ナカラ右へニテツメ

目ハカケシトニテ人相ナラム 女一同ニ暮ルニ
 幕入

一ツキ幕ニテ遠見四人タケル 幕トニカケル九人
 行テトスル 幕ノ方遠見 右ノ方遠見 梅枝ツテ
 一カ幕ノ上ニカシ 左ノ方遠見 幕蓋ヲ一カ幕ノ
 上ニカシ 右ニカシカシカシ 幕蓋ヲ一カ幕ノ
 幕持ツヒテ幕入

正名

文政六年未年
伊予九郎奥伊能
且初形
清賜

大口緋色三毛

前二丁

一 素小袖 前帽子 袖口三毛 总付 匠手板 大口

茶 水衣 袴子 故付 腰帯 白首 金地 甚帯 袴 櫛

小刀力

義經

一 肌 高袴子 总付 匠手板 白大口 長袴

故付 腰帯 小刀力 袷袴

子方

一 髪 髷帯 总付 着袴 白大口 袴袴

腰帯 白大口 袴袴 太刀右三持

仁田原三郎 井右衛門 腰袴

一 羽 羽子 白袴袴 总付 匠手板 例次 三

掛 匠手板 腰帯 白大口 小刀 白首 袴袴

初ヨリ 例次 三毛

後二丁

一 素小袖 長袴袴

总付 匠手板 半切

故付 袖袴 匠手板 三毛 太刀 腰帯 右刀帯

長刀持

阿福和 立衣二人

一 髪 髷 白袴袴 总付 匠手板 例次 白大口

腰帯 太刀左三持

雛子 地氈 匠手板 袴上 義經 袴 立衣二人

何ノ事ナリ也 故付 匠手板 三毛 床几ニセ

袴 立衣二人 喉ノ下ニ尻 但ニ袴ハ行ナリニ下ニ尻

右カサニセテ 匠手板 右ノ方ニ下ニシキ 三毛ヨリ 袴袴

又キテ 右ニ持 腰小袖 右匠手板ニシキ

幕上長衣留ニテカハ

出陣ヨリノ便ニテカハ
イカニ

はテ幕上 御意カヤ ト感ナカニ

是ハ君ヨリノ便ト覺テト君 母子ヲツク

オニ小宿願ノ子細ヒテト紀 令込運ハリト

あつツク 早河ニ紀 各テハハトあつツク

カ女養生ヲ加ヘト紀 カナラズ何云ハシト

あつツク 早河ニ紀 唯この便アリトト

ワツカト側へ来リシテ左ニあつツク

是昨ツイハセ又御意ニトワツク見 去依傍モト

早河ノ内ニあつツク 早河ノ内ニあつツク

面付心得シテ面付 切面トテ立

アラニ事モイタツラニト面付心得 切ヨリ

あつツク 早河ニシテ左ニあつツク

痛切又時 早河ニシテ左ニあつツク

ノキワヨリ シテノ後ツク 通り又ケテ

行ニ 早河ニシテ左ニあつツク

為テノ方ニ向テ早河ニ行テ

去依傍シマト云時 あつツク

此テ後 カニテ能守護ト云ト社内後ハツト

あつツク ヨモサハアラシト 起テ正面向

ト上ニハ後リト云ト紀

コレハ先時ハ

一ノ松ニシテトメテモ

女子ノ座ヲシヌヘキト笑テ 口手ニ向テ表向テ

ナヤト法 ~~舞~~ 女子坐田へ或る坊トシテハナリ

多座へ向テヨシキ 是ハ何座ニテ以テ上ト法

又 又座ニツテ事ノ法ヲト事法ニシ

女子坐田へト事ニテ下シテ 或る坊ト

又 事ニテヨシシカシ アトロク

後ルカ祝事ニヨリト記 何座ヨシキ座ルオニ座テハ全クト記 只ル自ニ掛ヘト

女子ツク 尚座ノ席ヲ造ヒトト之也

折向ニ立ニテ柱ノ側へ向キ下ニ座 記法又ツ

左ニ持立ニ向テ立ニ心ニテ柱ト見付柱トノ間

下ニ座 此前ニ柱ニ後トツリト又ツ用

右ニ記法又ノ時ノ形 并座座又時又用キ

ク口下ニ座 前ハカシ記法文トケテ有キ持立トリテ

正座 ~~舞~~ 自坐ニ是ツキ付ト并座 ノカカ

記法又ツ并座ニ後又座又キ持テ元ノ座也

一口キ記法又ツ法 用テ 或座ノ前へ見セル

并座又ツ法 此座ノ方へ向テ 義理ノ方へ向テ

此座下ナルト女子ツク 形座前ニ座 記法

方向座ル 此座ニ立テ花出ラト 子方 此座

此座ノ方へ向テ 此座ノ方へ向テ

一 群子方に着有糸ラストをカフ物ノ入心心上上行

或は是ヨリ右トツト右テ左へ持替物向

一 空ニテ互れテ入子方左カフ物後後行テ

中ニリ分ノをカフ持テ階向向テ互

一 中中ハカセツテエツトトホミ心 門ヲ開カセ後後行テ

シテ群ノ後へ行セリ左リテ幕ノ下下ツリ

ヨグル勢ヲト逃逃ニ左トリテスス凡凡カハルハル心

長カカケテ也

後ニテ及及 ンテ何處何處和和まれ人ト取取心心ニテ下下松松テ

取まれ程ヨリ並正正向テ向ヒイヒイ後

一時一時ニテ馬馬シツトトサヨサヨトトトニニ互互心心テ長カツク

去仍去仍ニテトト群群ナリトニ互互又 五五節節又又判判官官殿殿ノ下下行行

方方向向チ切切ニニ互

一 味味方方ノ焼焼カセツツ見見テト 幕幕後後方方ノ互互右右ツリテ

シテ方方ノ互互左左ツリテ幕幕後後方方

見也

アノ去去快快信信ツキツキ心心トト 氣氣斗斗ニテ互互れツツ心心テ也也ニ

長カカイ也 右右ツリテ 幕幕後後方方ノ互互左左ツリテ也也ニ

下知下知ノ心心 扱扱也也ニ互互左左ト入入箱箱ニシテウウシロノ方方ツリ

テ松松四四リニテ幕幕後後方方ノ互互右右ツリテ長カ肩肩ノカケ

左左ノ心心ニ互互左左ツリテ幕幕後後方方ノ互

一 所所始始初初シテ方方ノ互互心心トツキテカ留カ留リシテ也也ニ互互テ

同同ク幕幕後後方方ノ互互心心トツキテ也也ニ互互テ

一 互互左左ニ人人ト松松ノアツリニ人人並並ア

一 江江田田ノ原原ニ然然丹丹布布 毎毎度度シシトシテト互互心心トツキテ

一 幕幕後後方方ノ互互心心トツキテ也也ニ互互テ

一 幕幕後後方方ノ互互心心トツキテ也也ニ互互テ

糖格 常初ノ入ニテ柱ノ之ニテ二人並立向ヒ
切組 見立 オキカケニテ切組ノト後一ハ
切組 仁舞ヲシ 或レ方立氣テ今切テは舞也
首ノ上ヨリ後見飛ケ 體ヲ持テ正而下ニ外

一 弓を平へてイカ云依傍懸て安ト儀

イカ一をカトヨハレトゆて 所始和シテノ

ウレコヲ通り 大将キセテ付ハシトト右ヲ

シテヲ防キ 好キ物に提テト右カシ又キテ

右トケテ見 舟慶ヲ目カケテカリケレハト

早ヲキツト見込ニテ 常初又シテ花ノ之ニテ

是トメロキヲ見テ取ル

陰奥ノ間ノ位ニト云 右家解テ早ノ間ニ

先ノ如ク早ヲ見テ取ル

コム長カヲサ松ヒト左ヲリテ右カニテ長カヲ

右ヲ方ハ大ヲ松ヒト右ニ右ニ後流シ早極区ニシル

トテチ 常初リ又下ニシノ一ツサノ引テカカラ
上ケワキ 常初リ又下ニシノ一ツサノ引テカカラ
常初リトテチ 常初リ又下ニシノ一ツサノ引テカカラ
常初リトテチ 常初リ又下ニシノ一ツサノ引テカカラ

常初ノ内シニ也 常初ノ兵装草

正方是ヲ見ルヨリモト 返シヨリ之テ長カカイ込テ一松

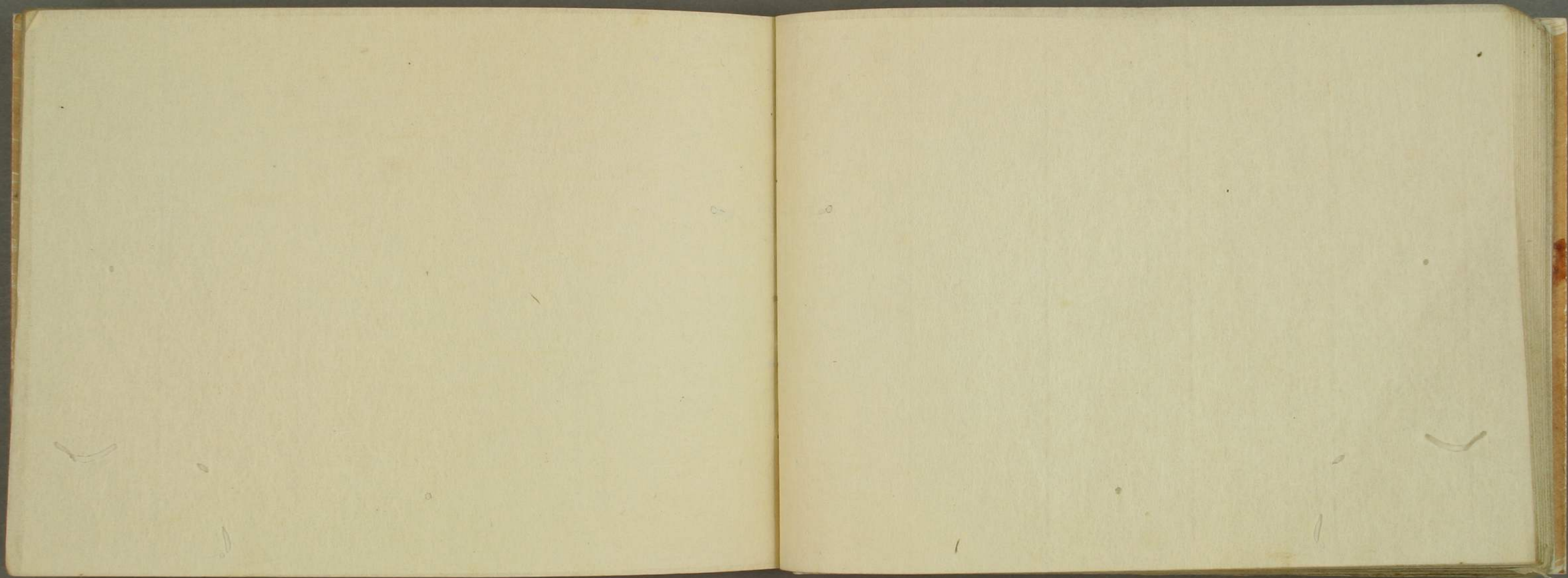
討セテ之見テ取ケハ付ハシト長カカイ込テ之カニ常初ノ

アゲト云 馬ヨリ下リ立ト 右ノ是ヨリニ区ニアトハ

上トシト 是上ケテカカリ 乱レ入ヲト 是ニ長カ上テ

常初ノ
一 乱レ入ヲト 右カ又キ上ル

常初ノ



七騎之庭

池旁ニ庭はテ幕上

北終ニテ田代 三ノカイノ次幕 去屋ニ幕

去佐防 子方 為傍 右ノ明ニハ 幕巻ニ立

並ニ向ヒ右ノ次幕

但シテハ使舟舟ノ方西先ノ分テ正面シ見

左ノトリテ 立流ト 並ニ北終ト南ト

地場有ニ皆こトニ流ル 北終中 西面向テ右京

北終

一 母房上後ノ方ノ開カハ口ト奈ト達津ニテ

右ノカ引^足引^足ニテ(向イカニ去肥ノ次幕ト云

急ヒテ召レフスルニトトはテテ 口手度ニ也

陽西面向テ床ルニカカ

イカニ去肥ノ次幕ト云時 毒女ツク ト多ヨリ瓜舟ノ

幸シロ付不絶モト絶 意テ石シラスニテト子ツク

シテ立派二因ニ立シテ 折然ノ次へ彫立派シテノ次へ
但シテ在リヨヨキテ和モ寄入トニ本トキイリヨヨキトキトキトキ
地底ノ如ク吠ニ益ヒトニ見ル

イカニ富年ト折然向ヨツクキテ此折ニ外ト

急な思ひシ九事アリト云ク 富年斗ヒテ

舟ヨリ一人下シハトノヨツク夫テ最ニ外ト云

絶テ立其ニ此 富年佐厚リト遠ナカラ見付持ノ

方へ心見月輝ノ折ニテ此保ノ人オツ見保

セハト立派ノ方向田代ツ見テ先ニ立ハト

懐 老人交吹ニ見ル 田代ハ公体傍トテヨト

公体傍ヨリテト云ク此向 富年外ト遠

六中ハト子ヲ云ク向 保板ニハト 冥ハニ見

此人ハ君ノ傍ト云ク見返シ折切ニ云向

何シヲ探シ心シトト 田代ヨリ其実ト見也

トシモノ富年ト云向 折面ニ立斗ナリト

面ハヒテ例ノ初ヨリハトニテトニテト 折ニナリト下ニ立

イカニ富年ト折然向ヨツク夫ツク 最テ外ト云テ

絶テ思海折向イカニ富年折へト云 御名ノ内

向光ニハ、ニツ持光謂ノ以カトオホ事情

一 富年ニテ外ト云向テ 此日之折山ノト遠

餘リノ在折ニ折ナ宜ヒト云テ子方へ向イカニ
富年ト云

云渡同の事ツカ物ト先父の遺へテ 君ノ為カ
今ツハ背カ下リシヒトカト立テ子方ウヘリ

下ニ辰辰拾 其後ラハ人子ニ掛シヒクト立リ

左カニ子ツ掛テ子方シカト也

一 皆ト 右ノ御心シテト也 撰メテ止メ 誤リカカ定年

云とシカト撰 又誤リカカ定年ニテ止ルモ

何クとも果カ探リテトトシトニ 既下リシキト

ヤ者下トウシヨリト 云ナカラニ相ヲ持テ互 果カ

取ヨリオリマウヌト右トリテシテ柱ノ方ヘクツク

一 子方 カ免ハ公 立テ 撰メテ 向 イカアハコラハ果ウ母

ヨウカリハヘト云

子方ヘ向テ 何トオリマウスルトカト云 冥ニ存セ

果カ子ニムヘトニナカラ子方ヘ例ハカ 左ノ子方ノ

肩ヘカケ右ノ子方ト向テ 既カリヘ迷ハカ松ノ

アクリテ子方ツ脇ノ面ノ方ヘテシテ放シニシテ

テモガ アツリヨ初カカサハメリト

カニテヨ果カ子ト若カテト子方 右物ヨウ惜ケルト初ハ

テセトリ 既カ シテ様ノキウヨリ カクテ我子ヲ

ツクニツキト流ナカラ 我能ノ次ヘサテ向ヘ向トス

一 子方 又ノ別レハバニ及カト 君ヲ救メ余セテト 我能ノ向

は私情ヨヨカトラク 偏シ見送り夫スバト

シテノ方ヘ 心ツヨクモ行アトニト左トリテは是

座ノ行 心ツクニ行ハニ歌大皆見ヘタリト云ルも我能ノ心ツクニ

一 我能ニ情ニ陰ツクニ田ヘハカスカ定ト 我能ノ方ヘ

〇 皆後ヲソルニケルト云ル 皆ノ初也

破道向じ人シズト樽よりノ方ヲ向 船はバカリニト
思ヒヨリテ見 別レリ表ナリケルト面依テ三ノ五又
二ヨイニナリテ面五又

一ツキニヨイニテ也

ワキ流カメラズ見テ立 見付トシテ柱ノ間也
柱ニテ夕流内ノミテ脇ヨリ方ノ心テ路ヨリ向

軍ツリテ ワキノ河 行ハリテ 長浦ノ方 向テ立テ

イカニヨト云 船ニヨリト立テ立テ先ノ所ニテ向

イカニヨト云 船ハト云 船君ハニハ舟ニヨリカト

はテ立テ立テ 和同ト内ノ方ニ立テ立テ 向見テ

スルニヨト云切テ 舟ノ向 イカニ和同船ヨリト云

脇ヨリ立テ立テ 舟ヨリノ方ニ立テ立テ 船ハト云
船ハト云

テニ立テ立テ 船ハト云 船ハト云 船ハト云

スルニヨト云切テ 舟ノ向 イカニ和同船ヨリト云

ヨリ立テ立テ 舟ノ向 イカニ和同船ヨリト云

キウノ方ニ立テ立テ 舟ノ向 イカニ和同船ヨリト云

舟ノ向イカニ和同船ヨリト云

見付舟ノ中程 舟ノ向イカニ和同船ヨリト云

子方ヨリ見付 舟ノ向イカニ和同船ヨリト云

舟ノ向イカニ和同船ヨリト云

舟ノ向イカニ和同船ヨリト云

舟ノ向イカニ和同船ヨリト云

クハハト云 子方ハ云ノ是ハ也 ~~ニテ~~ 直リニ後ノ後

~~用~~ 直リニ後ノ後 正方向ト云

子ノ向テイカニ和同銀ノリト云 オラハ物物

ハト云テ向ハ云ス ナニホウ云能銀ニト云テ向

娘ニナキノ後ト云 日モク等ニ成又レハト云

~~酌ノ前ニ持~~ 持立 月ノ直ニ云ニト

形ノ前ハ云酌ヲモテ 之後在ニ悦目ノト

直ナカラ云左トリテノ前ノ前ハ云酌ヲス

心娘ニキ酒あがト云シタニナカラ云ニ ^{左トリ} 右トリ

月 ^{月ノ前トナラズ} 正方向ノ前 畏テトト云テ 心娘ニキト

左右袖ヲ扱ヒ 第何ツニテ ヒシ名リヨリト達候ツニテ 田男候

トメ左右折込用 カリテ時日ヲ廻ラカスト 袖子ニツ

フシ左右ニテハアトヘ折込用 返ニ云ハ行カリ

國ノ兵並第スレハト カレ廻シ 律ナリ候後ニテ

第騎ニ成玉ヒツト 形ノ向テ開リ云 堂平ニ云メ

玉へレハ君ノ内ヤノト 真ツキ

一形能立テ 方ニ心路をヨリ 五ニ云メ

目ハ云成メモト 云カニテ 形ノアトヘツキテニ候

方 向右ラウテテ ニテ後ノ先ハ 折込物ニ云フモ

云矣ノ家ツト云ノ用 右ニ云ハ 久シケレト 折子ニツ

袖エトシ存夫之テ藝又

九世

一 射 射 射
細倉 射 射
是付 小物子
是流
桂水衣 存夫 修市
存石 後 勝 三 入 初 押 カツリ

前連
一 射 射 ノシメ ヨリ水衣 肩太
存勝 三 入 初 押 カツリ

後三テ
一 星 雲
存 公

ミテロシテ入 初 押 カツキ 公

是ノ百イ此帯 初 初 入 時 初 押 下 右 提

是方ノ事ニテハカト 早 入 早 初 正 入 我 始 三 キ

ワシ 先 存 世 戸 名 付 シ 初 ト 云 是 存 世 戸

右 付 三 右 ト 早 入 皆 向 左 三 儀 天 之 燈 三 初

ノ内 燈 ト 三 右 向 右 カツカワノ 時 席 存 三 初

早 入 有 初 カツケル ト ニ 三 ツメ 早 之 儀 三 早 入

中々事由使言トツテ
四年九月モ見立リナキト

豆ツメ 天ノ橋ト云ク 都ノ人モト右ウレノ

澄ハ思フ事ナクテト云ク此シテハカケ 四方ノ

詠モ面自ヤト用 松凡モ音シゲクト左ノ廻リシテ

柱ノキワニテ 月スミ登ル九冬ト云ク 早ノ開 返シヨリ

土中ハヒテト云ク此シテハ内俣捨 腰ヨリ春草

テ侍 カレトメ 色ノ中カ切 上ノ前 ヲセトメ

右田所早ノ向 カナラスハ燈籠ハト云ク 不忠感

母モト云ク 大聖文殊ノ出前ト云ク 才ヤウ

老人ハ我ト云ク早シ見 巾着信ト云ク此シテ
更ハ早シ見也

立早ノ向 心ヲ感シ奉リカト云クツメ 云捨テモ婆ト

右ノ廻リ 松ノ木陰ニ矣ニテリトシテ柱ノ足ニテ云ク用

中入 ライ布ニテ入

後ニ早苗ニ庭シテ幕ト云ク松ニテ云ク用 池

秘宮ノ大リヲ感ス也ト云ク用 空ニハ月ト云ク

ニヤウハト拍子モウツコ 亦返シニ左リテ第カハ

シテ柱ノキワヨリモ垂ニ見月柱ノ前ト云ク 又下界ニハト

秘林ノ燈ト用 燈下ケテ見 潮ニエラシト燈ハ

先ノ妙ヲ持シ 地陰ノ空ニ秘カサリ又ニ柱ノ方モ此ニサリ

浮沈ヌトシテ柱ノキワニテ 母燈 光リハイトハカ
ヤキ

上リテト立焼明上ケテ 陽之は女を心

又焼明上ケテ 焼明ヲ重クテ見ナカラ 陽之
心テモ

天地ノ各焼一ツニナリアヒト 此ノ物ノ存方ノ焼明

焼明宗 九世戸ノ取方メシクナリト右ノ廻リナカラ
但天女上同宗也

陽ノ物又キ持ヒテ極ノキウカガリノ廻リノ開
宗 陽子フム必事 今ヨリ此宗ハ陽也

自左ニト拍子ツツミ 返シヨリ右ニカケ 通カヒミノ

奇持ヲ見セトト宇ノ向 平地ニハラシツオユシツト

カテ西久ノ行ナリ 海山 震天ニカケツテト左ノ

廻リニ事ヲ正へ 此カケツテト左ノ是ヨリトニトニト

此上リナカラ右向 此ヲケメテ 兩ツオコシテ 拍子
吹目雲ノトト左ノ是ヲ大クニツカサス振ニシテ

陽ノ方ヨリ他ノ物ノ方ニカケ 此焼ノ是リハ

アキラカニト左ノ袖返シテ此ノ物ヲキツト見 撥スミ

登ヤトカシテ右ノ廻リ見住ノ方へ 此返リテ

袖カツキ 此物ツキ 天女ニ女ノ姿モ書キニ合玉ハ

天女ノ物ヨリノ行ヲ見送リ 此ニ袖返シテ 是ノ中ノ

行左リテ 見住ノ方ノトツ見送テニニ心 又

此物ハ 撥ヲケツテト 拍子ツミ 口カテ 陽ノ廻ルト

左リ 左ニトカシテ 早ノ前ノ行振ニシテ 撥ヨリノ方ノ開
又 袖返シ 又 袖返シ

右ツリタル、物色リ、油モトモナカラ、暮キウと
走り行テ、子区相子ニツツミ、引レテ、彼ニワト左ノ是
船返リ、油カウキ、おウツク、油モトシテ、油区右ノ是
ニツツメ、入ニテ、ルト、相子ニツツミトメ、暮キ入

天母ノ仁政

徳新ノカシ

一、此處ニ、渡サテ、此、地、明、あ、子、持、テ、也。
シテ、柱ノ、先、テ、之、用、テ、後、お、ス。
天、津、ミ、ウ、ウ、内、船、カ、ト、ニ、是、相、子、同、天、津、モ、母、ノ
ト、部、ニ、之、お、松、ノ、相、ニ、ア、シ、ツ、ツ、ト、同、
ア、シ、ツ、ツ、ト、ウ、ニ、モ、リ、カ、リ、ケ、レ、ハ、ト、左、ト、リ
右、也、り、も、津、程、ニ、テ、お、ウ、相、子、方、ノ、方、シ、ウ、ケ
シ、テ、船、カ、マ、カ、ア、ラ、タ、マ、リ、ケ、ル、ト、暮、キ、シ、見、テ
ヒ、ラ、キ、早、ク、回、タ、左、ト、リ、地、色、ノ、お、ハ、リ

角カケテ、向立テ、居ル

光リハ、夜、モ、カ、ヤ、キ、ウ、タ、リ、テ、ト、云、ア、タ、キ、ヨ、リ
他、リ、物、色、左、リ、ノ、方、角、ノ、是、春、一、ツ、ニ、ナ、リ、ア、ヒ
云、所、内、船、シ、ノ、左、ト、リ、船、ヲ、又、キ、ナ、カ、ラ、
え、ノ、是、ノ、カ、リ、ト、ニ、居、ル、明、ク、モ、リ、ク、シ、ト、ウ
ス、レ、ト、モ、ト、云、ハ、カ、ヨ、リ、是、テ、右、ト、リ、船、色、リ
ハ、リ、也、ニ、暮、キ、入

生田穀盛

他ノ物ワラ屋引廻シカ
指輪付テ大小ノ箱ハカス

左ノトメリ廻シラス

及ルノアトノ洞海~~中~~子方早テ人九ツキ行テ

夫ヨリ五世存ヨリト伝ハス

真カノ人ノト早ハモ才向 細カシ地行ト~~子~~向 子方

伝ニナリテ~~ク~~ 後ニスカリト子方例ハ本リ袖シトル

時~~新~~斗~~子~~方~~シ~~ワ~~リ~~テ~~伝~~ル 新ハ思ヘトト~~ク~~

今~~シ~~マ~~ナ~~ト~~新~~斗~~子~~方~~シ~~ワ~~リ~~テ~~伝~~ル 扱モハ此ト
但ヤ身~~ニ~~テ

~~ト~~ト~~ク~~子方~~ノ~~向 中津アルシト~~ク~~

親子ノ扱~~リ~~モト子方~~ノ~~向

但子方~~ノ~~不向ニモスルカ

切~~ニ~~他~~ノ~~物ヨリハニ~~モ~~ハ 花鳥凡月ノト~~ク~~シケ

侍~~ノ~~名~~ハ~~伝~~ノ~~ト~~ク~~ 込~~ニ~~ト拍子イカ成折カ本リ

ケ~~レ~~ト~~ク~~ハ~~テ~~行~~リ~~ 本~~ノ~~扱~~ケ~~テ~~ニ~~モ~~ト~~ナリ

カ~~レ~~廻~~シ~~開 主~~ト~~始~~メ~~存~~リ~~ト~~ク~~子方~~ノ~~向~~ニ~~モ~~ト~~ナリ

静~~ニ~~ハ~~ル~~ 花~~ノ~~扱~~シ~~タ~~ナ~~ト~~ク~~拍子セツ左~~ノ~~向

伝~~キ~~又~~ト~~開 羽~~ハ~~又~~ハ~~旅~~ト~~角~~ハ~~向~~ニ~~モ~~ト~~ナリ

山~~ノ~~然~~ト~~角~~ハ~~向~~ニ~~モ~~ト~~ナリ 海~~ノ~~海~~リ~~ト~~ク~~左~~ノ~~向

又~~ニ~~海~~ノ~~浦~~ハ~~ノ~~ト~~早~~ニ~~テ~~ク~~向 頂~~ニ~~ノ~~ハ~~山~~ノ~~路~~マ~~ト

右廻り 家^の庭^に程^に近^しト^ハ年^々テ^ハ同
一門ノ人^ニモ^ト九^十年^迄存^スル^カリ^テ上^ニ後
之^勢ト^存ス^テ川 雲^マ庭^ノト^左方^ニ行^ク
ゆ^クニ^テト^柏子^皆ク^ト右^ノ方^ニ行^ク 年^々ハ^運モ
ツキ^クト^正方^ニ先^ハ并^ニテ^川 マ^メケ^心モ^ト左^ニ廻^リ
皆^存ス^ニト^シテ^柏子^先ヨ^リ可^シ庭^ニテ^角カ^リ
左^ニ廻^リゆ^ク物^ノ前^ニテ^子方^ニ向^ク 娘^シマ^ナシ^之
親^子ア^ラム^ト之^女カ^テ同 右^孫ツ^キセ^又ト^庭
メ^シナ^カラ^右ニ^廻リ^大少^方向^ハセ^リ兼^五段
兼^ハ申^ノ兼^トゆ^リ兼^ノ間^ノ位^ニ

兼^ノト^メシ^テ柏^子ノ^キワ^ハ行^クト^左方^ニ行^クト^右方^ニ行^ク
兼^ノ方^ニ向^クゆ^ク先^方見^テ川^一流
心^取スト^トカ^カテ^行セ^リ 間^玉イ^カラ^玉ア^ソト^ト
兼^子サ^シ同 云^カト^見レ^ハト^右ニ^行ク
石^見ヤ^ナト^柏子^ニツ^フコ 此^レニ^向カ^行セ^リ
兼^雲佛^ニト^カシ^庭上^ヨ見^廻シ^ナカ^ラ右^ニ廻^リシ^テ柏^子
先^ニテ 之^數ミ^ラカ^ルト^右方^ニ行^クテ^右方^ニ行^ク同
天地^ヲヒ^カシ^流ミ^クリ^ト上^トト^見テ^右方^ニ行^ク面^を見^ル
替^一ニ^數ミ^ラカ^ルト^右方^ニ行^ク面^を見^ル見^廻シ^ナカ^ラ
物^ニ明^カス^ニト^兼ノ^兼ヲ^左ニ^ツク^ニ右^方ニ^行ク
右^方ニ^行ク

前へクテニシテ 剛記位ノト右カシ後 右カシ後 右カシテ

右カシシカト見テ 太カワツ甲ニカシカサシト

左カシテ右カシ頭ノ上へ上テ角へ行テ右ト足ト又

家マロシヨニ走リメクリト右カシテ左へ廻リ

早夜ノ前アサニテ 大臣様ノ方へ左カシテ向

火花ヲチラシテ 拍子ト二回ニ右カシテニツ切

吹ハカヒシカト 拍子並右六ツ但右カト一所ノ拍子 右カシ

指クアリテトカシテ右へ廻リシテ炬ノ火ニテ西へ引

夕ナニテ消然テト 正面ヲハツキリト見 月院後

テオクタル腕ノをトワト 左カシ 上カシル

心カシマ子ナカラモト 右カシ後 右カシへ持並ニ

急キ返リテト子方へム子サシテ ム子サシニモスルカ ともいひテ

下ニ飛 返リ別シトシホリナカラシテ シテ炬

ノ方へクツヨキ 立カシ後ハカケコフノトカシ後テ

右へ廻リシテ炬ノキワニテ小廻リ 先ニケリト又開

返シニ廻返シ 先ニケリト拍子ニツフシ袖モ止

初々ニテ入ル

子方ロキ 一他リ物カテ何事ナク出 次ガニ並フゆク足ト又

西向尻 早夜前ニテ 内初夜ノ上ト又カテ

下ニ飛 上カシ後ニ西カシテ 合掌シテ首カシテ

アラメナル差フ裳テト口手へ 内初夜ノ上ト

ツナテ向カシ後 アラメニヨク差フト口手へ向

向時舍利ヲキツト見テ 柩ヲ止る也ニ也シもの事
下ニ長クッリシテニ右攝法ハスヘシ

ク色ノ前 上ノ前 色ノトメ 甲ノ向 舎ハ何ヲツク

指ハ舍利ニ重アリトイテ舍利ヲ見也 ヲルシ

玉ハハ僧達トトクトトニ長 舍利殿ニありシト

長五テ長初ノめク舍利ヲ見也 キンクハシヲ見セト五

色ヲナシテト云ニ也トナリ 〇セシタシシイ

加。又。セシタシシイ。カ。ソ。ト。ホ。ツ。フ。ミ。ミ。也。也。也。

トリテ柩ヨリ行テ柩ノ方ナリニテ正ノ向ニ也也也

上ニ立ノホル雲燭ヲ立テト 頸ヲツカニ正面ノ上ヲ面キ

見廻シ 光リニ花ニキテトタラケト女カカリカシ扇

ニテ柩初ノ方入 柩ヨリ長ノ後トハトシテ柩ノ方

正引 是ハヤキ鬼ナレハ トコトシトトトトト 柩子

舍利殿ニ花上リト 左リテ柩ヲ見也 柩ノ初ノ方ナリ

クルクトト左ニキルクトニ也廻リ 見人ノ目ヲクラ

メテトカシ扇ニテ柩ノ方ヲ面キ見テ 其飾シニ

右リシテ、舍利ヲ見テ 牙舍利ヲ立テトトニ長

舍利ヲ立テ持テ立 天井ヲ踏 柩ヨリト 柩子テ

色ニ也ヲ左ノ是ニテ 踏クダキ 虚ニ及ニ花ニト

左リシテ、左ノ是ヨリトシノトアトノ方ニ也ヨ 柩ヨリ

トリタル形ヲツリテ柩ヨリノ方ニ 柩舍利ヲ立

アタリハ上テ 柩ヲ入り入

〇一セシタシシイカヲト 柩子ホツフニフニ也ナシ也ニ右トナリ

柩ヨリ柩キワニ也ナリ 柩ヨリ上見廻シアトカシ扇

柩ヨリ柩キワニ也ナリ 柩ヨリ上見廻シアトカシ扇

柩ヨリ柩キワニ也ナリ 柩ヨリ上見廻シアトカシ扇

柩ヨリ柩キワニ也ナリ 柩ヨリ上見廻シアトカシ扇

柩ヨリ柩キワニ也ナリ 柩ヨリ上見廻シアトカシ扇

旅初めアト同新

一足上ニ立ニ早苗返テ幕上ニテ也
相見間隔ニイロニ一足上ニ幕上ニ
会利玉シ左ノ
脇ニ立ヘテ部ニホコ也
宿初ノ年ハ何テ正ノ向テ
女シカテテト是ヲトメ
右ノ方ニ行テ一足上ニテ也
右ノ方ニ行テ一足上ニテ也
右ノ方ニ行テ一足上ニテ也

右ノ方ニ行テ一足上ニテ也
右ノ方ニ行テ一足上ニテ也
右ノ方ニ行テ一足上ニテ也

左ノ方ニ行テ一足上ニテ也
左ノ方ニ行テ一足上ニテ也
左ノ方ニ行テ一足上ニテ也

油カツキ
テ取ル
一イタ天 早苗一足ニテ也

イロ叶フニトヨト 油モトシテ之右トリニ立也
但者ハハスル也

味ノ向 誰モをノトニ立也 有モノヲトリ
彼界色界 色界トシル所ニ柏子フミ

ハシラキ必帯ノ物ク トメサ返シマテ
彼界色界 色界ト柏子前ノ物ニ人及フミ

ゲ天マニ天ト左リテ一足上ニ立也
方ニ立ニ花下リ右ニ廻リ大小ノ新ニテ
ニテ三天

ヨ子上リテトニ用 帝釋天ニ立ニテハト者ノ
前ヨリ女左ノ方上ニ立ニテ取ル 林立天ヨリ

出合鏡ヒテト 右ノ方ノイタ天ヲキツトクテ
一足下界ニ

退下ストイタ天ヲ時一足ニ立ニテ左ノ方ヘ下リテ取ル
カツク先ノ物ニ イロエニ立テ左下リテ廻リ苗ノ前
アタリヨリ右トリテ部ニ初立ルアタリニテ右トリ

イタ天ヲ見付ニ立ニテ取ル 右ノ方ニ立ニテ取ル
退下スト女取ル 左ノ行モト遠ナカラニ立テ

ハ文ハイ百時必是遠也

木枝上 唯下スト物子ニツクム イロエニテリテ
 高ノ右ノ方ヨリ下リテ都ニシテ梅ノキワと
 け左トリテノ方ニテテテテテ見付テ
 ニ互心テ開 卒ノト界ニ唯下ス木枝上
 論ニ付テテテテテテテテテテテテテテテ
 見テ左ラリテテ イメテテテテテテテテテテ
 シテノリコヨリ肩ノ所ヲあひテ持正ノ方
 ノ向ヘ左ニテシテノ肩ツレツカリ
 大地ニチフセテト木枝ニテ一ツカ 首ツクヘテ
 相子ニツクニ 心セヤクト木枝ニテニツクカ
 金利上ニテ見テテ 元玉ハト木枝ヲ持テ
 金利ツクニ 心セヤクト木枝ニテテテテテ
 トシクトニテニテテテテテテテテテテテテ
 幣ノをリ入ル

大社

シテ前前ハカシ右ニセ持幣持
 但ニツクトモ 杉幣持テモ
 又ニ人トモ 幣モメテニテモ
 唯子方座付テテテテテテテテテテテテテテ
 小ノロイ如幣

口ヲ向見テ是ハアツテハト海 口ヲ向テテ
 アユエラテテテテテテテテテテテテテテ
 太シキテテテテテテテテテテテテテテ
 國ソクニキト開 実マ紅モト左ニ廻リシテ
 里モ冬タツ氣出テテテテテテテテテテテ
 口ヲ向テテテテテテテテテテテテテテ
 口ノ前名ノ中木枝上ノ前 右ニ向テテテ
 口ノ時ニ悉ク影向ナリト口ノ向テテテテ
 口ノトメテテテ 口ノ内ニ向テテテテテ

○春花トナシ扇ヲ他物ノ例ノ行柄ニ存せしト他物ノ左ノ袖ヲ
春ノ花トナシ扇ヲ他物ノ例ノ行柄ニ存せしト他物ノ左ノ袖ヲ
返シテ掛ケテアカサト踵フミ花ト袖モトシテ左リテナシ
花アカサリ 袖返シテ 三付柱ノキワヘリハ物ヲ
踏マツニテ踵石踏

花ト袖モトシテ左リテ 衣上ヨリあぐらヲシテ

下ニ見

三付柱ノキワニテ 踵踏ハ常ノ形ニ 右踵ノキワニテ袖カヘニ

又

花アカサリト袖返シテ花トシテ 踵石踏時ハ又咲花ノ
雲ニノリトワキノあツテ 三付柱ノキワニテ 雲ニノリト

踵ニツクハリ込 世形ニカカ

冥モリナキト立テ丸ノ廻リ 立付ニテ 天俵丸ト

正用 雲ノ踵ヒデト 三付柱ノ方上ラ雲存シテ見
但存ラズ肩ヘアゲテ上見テモ

乙女ノ姿ト云ヒシ 三付柱ノ方上ラ云存シテ見
足ト云ヒシ 早夜ノお甲リカシキ物

三付柱ノ方上ラ云存シテ見

上ヨリ 存ラケテ 雲ニノリト 三付柱ノ方上ラ云存シテ見

袖スリ柱ノナカラ 扇柄区ニテ 持 袖スリ柱ノ

三付柱トリテ 正用 丸ノ袖返シ 右ノニ見

成ニケルト踵ニツクミ 袖モトシ 扇ト云ヒテナシ

但 袴トリノ連ニシテ 三付柱ノ方上ラ云存シテ見

右文政六癸 未歳十一月十三日

清水御殿沖役係御形之布 清賜 袴形

古野天人 袴平 袴直布 袴直布

三付柱ノ方上ラ云存シテ見 見廻シ 三付柱ノ方上ラ云存シテ見

右采書ノ形ハ勅達能ク存古ニテ見ル

丸山

前山

面小半扇 水衣肩衣 秋ツキテ丸
ツリ杉第

唯子方付テ極ノ他相四面を包ス

五ノ二ノ四第

カワリトニ豆ツメ 早ノ向ニ

早ノ向 人コツミテ子ト之ハ花ニ親向ト早ノ向

ニ豆ツメ 早ノ福ニ向 支コツテモト早ノ向

実クモシヤトツニ向右 神凡アヲハトワキニ向

右社丸ノ山ナリ左トニ豆ツメ 花ヨモ致シト

支婦ノ神ハ神カシトワケ 人ニナシラセ玉ヒリ

人ナシラセモソト在テ早ツツニ豆ツメ

ニ豆ツメ 早切ニ向 実おノ花蓋トちツケ

開ル法ト之也ハ神 今ハ

丸山橋下開

常橋川ノ下在也 其水ハトシテ

高如月ノト左ニ也リ 流ハ右井川トシテ

先ニテ向ニ豆ツメテ 水ハヨモモ下開

サ切アリ イマク花ヲモロフヨトツニ向

返シニ豆ツメ 去ノ凡ハ空ニ漏テト

シテテ 腸の上ツ見上ケ 庭おノ

向ニ豆ツメ 其おノ云モト開 早リトスル

千本ノ山橋ト 他ノ物也 吹テモハト

他物也 西面シ面をイ見也シ 日モ

西ノ方ノ上ツ見 ヨノシ待セ玉フベシ

以リ アスモニ事野ノト左トリテ

橋カリ方向 立クル雲ニ切チノリ

丸山橋下開

トシ見テちのひち也。柏子ニツクニ。夕陽鏡
和山ヤト用テ幕様。あひ下ケテ。南ノ
方ニ行ニケリト。足ト行テ。正午ノ光ニテ
是トメ。南ノ方ニト返シヨリ。影ニ移シリノ方
へ。影幕影好向ヲイテ。影ニニ之影女也。
此見有テ帳へ入ル

お多事 左に言ひ申すに、此の儀は、白紙に、白布を、
白紙に、白布を、白紙に、白布を、

後早苗ニ應年ウケテ。幕上ニ立シケテ。たツリテ
サシテ。さリ出テ。松ノアクリニテ。西ノ向

和光利物ノ内。望ト。柏子。秋有光ノト。幕影
及ニテ。ほろろ。公テ。命限同ノ。鹿ノ。交リト
ト。開。合タイ。あぶ。ト。西ノ。カカラ。幕上

左ノ。右ノ。左ノ。右ノ。左ノ。右ノ。左ノ。右ノ。
ヨリ。左ノ。右ノ。左ノ。右ノ。左ノ。右ノ。左ノ。右ノ。
ヨリ。左ノ。右ノ。左ノ。右ノ。左ノ。右ノ。左ノ。右ノ。

クウニト。も。年。ニテ。西ノ。之。公。用。ナ。カラ。あ。油。カ。ル。
ヤウニ。シテ。あ。ひ。ツ。乃。上。ケ。内。ひ。ツ。上。テ。ハ。ト

西ノ。ハ。ツ。キ。リ。ト。ス。ル。以。テ。子。若。男。ノ。ホ。心。腦。ヲ。松。ヒ。ト
袖。子。ハ。シ。ロ。ス。魚。尾。様。依。ノ。ト。脇。向。向。テ

光明ヲ放ツテ。左ノ。袖。返。シ。カ。シ。名。シ。テ。右。へ。也。リ
見。白。紙。ノ。方。へ。也。テ。キ。リ。ト。也。リ。移。リ。ノ。方。向
也。也。リ。ト。也。テ。左。ノ。袖。カ。ツ。キ。脚。も。本。身。ニ。入
移。リ。行。シ。見。ル。影。之。様。限。ト。立。テ。右。ト。リ

同解矣名ノ深シトヒテトち後ノ前アメリニテ
 之ノ用 名流ノちウケテ此ノ物ノ右ノ角ノ
 アメリノ宗世相子ニツム 山ヨリノあり 花ニ
 銭レト相子フニ先トヒテ^{ちり}在^り神也^也 神也^也
 此ノ物ノオシヨヒニテ花ハ心ツケ 梢ニカケ
 ツチト袖ツヨニカクち^りも年ニテ^は是^也
 ヨリトヒくと^は是^也花ノナカラ^ハ面^ハ 口カラ
 皮モト左リテ左ノウツヒナカラ^ハ面^ハカケ
 ち^ハ是^也テ袖也 左ノキリトモテ^ハ様ノ方^ハ向^キカラ
 ちノ袖也^ハテニテ^ハ様ノキ^ハ行^キリノ山^ハ廻^リニテ
 袖モトニテ^ハ開^キ左ノ袖也^ハニテ^ハち^ハ是^也ツメ 相子
 ニツム 久^シ知^レし 相子フニテ^ハち^ハトリ^ハ帳^ハ入^ル

右二月六日ウツル
後ノウツルハ云々雪ノ初ニカノ由
 此ノ日 右ノ形

一 考^スマ^カ山^ノト^チヨリ^ニ是^カカ^ラ人^ニナ^シセ
 五ヒソト左ノウツル^ハキ^ス
 一 春ノ風ハ冬ニ^シ滿^テト^チ陽^ハ上^ラ面^ニテ^ハ見^レセ^シ
 庭^ノト^チウ^キニ^シ 神^ハ吹^キ込^ルハ^ト西^ノカ^テ
 是^トメ^ニモ^テあ^らや^モ晴^ク又^ハヒ^トウ^キツ^メニ^テ
 ハツキ^リト^チ 子^ハ山^ノ後^ト仰^ル物^シ久^シ
 此^ノ物^ハナ^ララ^シト^チ面^ニテ^ハ見^レセ^シ 法^ハ日^ハ
 ち^ハオ^カラ^リ物^シ久^シ
二月朝^ハ南^ノ方^ニテ^ハ見^レセ^シ物^シ

此ノ物ノ形 此ノ物ニテ^ハアリ

雲梯院

長府 中持 甚良 有難後箱 早白三ツ

此法ニヨリ花の折レハト云何ぞ甚上痛也
ノ方向テタリヨフ花折ルハト云 小月ハ朝ハ

信ノカラ^{年身テ}上^カ公 山ノ山ハ名ニヨリヤト云^カ向^カ

松ノ御力人カト他ノ御方^カ向^カソノカアラヌカト

赤^カお 甚々御ナト教^カニツル花マト是トメマテ

見付テマト信 花は狼藉ノ人ソコノキ玉ヘト

早^カハツメ 早ノ河ニ赤^カミテ録^カ入^カ入^カニテ他ノ

先^カニテ是トメ オニトハ枝^カカラ^カヨ^カヨ^カトヨク

マ^カノ河ニ向^カ 左^カ河ニ流^カミ^カアリ^カトヨク

美^カト是^カハ^カワ^カリ^カトヨク 物^カハ^カア^カカ^カス^カト^カハ^カ外^カ

イ^カハ^カエ^カト^カヨ^カニ^カミ^カメ 室^カ持^カシ^カカ^カシ^カム^カハ^カ外^カ

是^カテ^カヨ^カミ^カカ 自^カ折^カハ^カト^カ是^カトメ 見^カ又^カ人^カノ

久^カスト^カヨク 女^カ切^カ左^カハ^カヨリ 此^カテ^カ柱^カノ^カキ^カワ^カテ

向^カ用^カ使^カ向^カ 此^カテ^カモ 此^カニ^カヨ^カ向^カ 早^カノ^カ河^カ

向^カノ^カ方^カ字^カ成^カル 此^カハ^カ身^カノ^カ心^カヲ^カ感^カシ^カル

早^カノ^カ河^カニ^カ向^カ 此^カノ^カ年^カノ^カト^カヨク 伊^カヤ^カト^カ西^カテ

テ^カ向^カノ^カ物^カ 由^カ信^カレ^カノ^カ月^カニ^カト^カヨク 此^カニ^カ昔^カシ

ト^カ向^カ 此^カノ^カ物^カト^カヨ^カ向^カ 此^カテ^カ持^カル^カ甚^カシ

女^カ口^カハ^カ外^カテ^カ引^カ 夕^カア^カノ^カ年^カノ^カト^カヨク

此^カテ^カ柱^カノ^カキ^カワ^カテ^カ向^カ 申^カ入^カ

○此ノ書ツ色衣ト人向テハ一柱ノ花ノ信ニ信テ早カカケ 此ノ信ノ定ムルハト云 此ノ信ニテ
トメ 此ノ信不審ヲ晴リト早ラニカト云也 夕ノ信ノト云也 此ノ信ノト云也 此ノ信ニテ

後一セウ

幕上ロケズニ任かん。シテ任ノスニテ足下大

モトノ身ニシテトシテ任かん。今ハ何シカワシ

テラハ夢中ニトシテ。イテテラカラハトワキ、

流リケリトニシテ又。柙也トクリ強キカラ

本オホ、カクハ向ニ任かん。柙オオカキトシテ

ニ任かん。サ切ニシテ

雲ノ下モトモノ着務ト向。左ノ勝ノ向リシテ

~~本~~ 左ノ勝ノ向リシテ。右ノ勝ノ向リシテ

四ノ入シラカケテ面上テ。右ヨリニ任かん。信長御ヤト

流ナカラ着ヒロケ。任かん。任かん。任かん。任かん

開ナカラ女ニシテテラケトワカリ。右ノ勝ノ向リ

開ナカラ女ニシテテラケトワカリ

サカツキト袖ヲロウク。右ノ勝ノ向リシテ。右ノ勝ノ向リシテ

テテ面ヲカリスアマニアテ、任かん。任かん。任かん

シテ任かん。任かん。任かん。任かん。任かん。任かん

イト、任かん。任かん。任かん。任かん。任かん。任かん

任かん。任かん。任かん。任かん。任かん。任かん

任かん。任かん。任かん。任かん。任かん。任かん

又トリノモト。任かん。任かん。任かん。任かん

任かん。任かん。任かん。任かん。任かん。任かん

任かん。任かん。任かん。任かん。任かん。任かん

任かん。任かん。任かん。任かん。任かん。任かん

任かん。任かん。任かん。任かん。任かん。任かん

任かん。任かん。任かん。任かん。任かん。任かん

任かん。任かん。任かん。任かん。任かん。任かん

任かん。任かん。任かん。任かん。任かん。任かん

口手へ公シノハ物種カメトモツキト山
 トハ飛 松葉ノ散ラスト向まシテ
 松ノ葉ノ子リラ也。ト物子ホツフニ
 角トリ左ノビリ大ホノニテカリ孔
 早ノ切 仔細物候トカシテ
 キリテアケ 潮ニミカ成リニケリ
 初モトシ 扇久ノミル

一ツツカシ月モハヤ入テト月ニ同シ
 一後延ノ露葉モト返シヨウ
 一ト月モアヒテ 宿神ト物ノ方見マリ
 一末ノ世トモト角ハカズ 早ノ向女カテ
 カリ孔セル古ノト開 仔細物候トカシテ

大なりノ... 物多ク候 清空ノ内動ノ礼

降ハ春雨カ扇カサシ 角上ヲカシ 氣十分ニ張テ見
 扇ハカト又イテ 扇ヲフセ 面モフセル 是ハ替ノカシ



羽衣ニモ同カアリ 切者トシテ
 カサシ花モト 十分張テ出ル時
 氣ヲ又リシ 心カモシカクト
 見ユル 枕ノ心カクト

扇

107



108

107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200

代主

（歌）
杉並カツギ 扇前ニカス
此扇持

真ノモイぬ帯 上帯ノトモ例ノ通り
但ツ目付短ク不行 左ニトテ地信ノ
前ノ以之振也

此ハ以之振ノトワキ 主上流田舎ノトク

秋ホカチニ及ズトワキ 只若方歳トク 又他モ

ハハストク 表目ハタノトニ是也 ワキノ初ニ

尾レナカスハ以之振ノトワキ 早ノ徳ニ

之流ニ下トハ向カニ流 此代モ流リトワキ

ハ雲リナキトニ是也

全帯ニモトク

カ切ニツレトニ居ル

此代ニ守リト右ウケ

書シヤクトハ五ニ

出掛 日海ノ波モ治リテト引 国トニモト

左ノ廻リニテ柱ノキウニテ 若トカリケルトワキハカテ

ヒラキ 尾ニモ一ノ年ハテ流ニハイニトニ居ル

向テ帯捨扇又キテ右ニ持

色ノ前 ムノ中 上ノ前 ムノトメ

右ノ前

事代主ノ有トテトワキ

ソモヤトク

事代主トワキ

ワキ

右立テワキシ
イワヤ神解ヲ流リシト
旅名ニシテ
之向テ立

天ノ元ニセ玉ヒケリト
為ハヤトク廻リ

カミニ右トリテ
中入

後ハ留ニ及マテ善ト右ツウケテ解シ出シテ

方ニトテ解シ出シテ法

只々空ニホリタリトクニ向 表面白ト

シモトイフト向ク解出シ

ツレハニフエノト右ツウケノ 是ハ卯月ト向ク

雪ヲ廻ラスト左チノ

袖ノ露シトリナカラ舞カクニテ柱ノ乞

テ右ツウケノ女ケテ用 逢神舞 五匠

舞ノトメ左右キハ用 冬ニ返シノ双ツバテ

右トリクウロキ 表有節ヤクト 見合テ 向テ

ニ足ハ 上下万民舞遊フト向ク用

都卒ヲノ舞ヲ
言ハシテモ

袖ハ子

ワレニヒラキテモ

見。仙臺落ト左ノリは柏子マシテ

春立空ノ縁ニト角（行） 春草（草） 咲ク

秋来ルト 左ニワリ 秋風ホシ縁トカマト大ホノおノ

行リテテ廻リテノ用 文ク。トヒ。リ

ナリト右ノリテ柏子マシ 虫ニ左シリテ

左ノみヨ上ニカテテ左ノ神を止ル

トリテキリトシテ位ノ方向ナカラ右ノ神

差也シテ位ノキワノ行リテテ廻リシテ

らく赤也マウニ神モトシテ用左ノ神ヲ

カエミ石ノニ是也 メテタギト柏子

ニツフニ神モトシ 扇タミシテ入ル

楊貴妃

ワキノ詞帳見合 首ハ瀧山ノト遠カス 口キトノカ合

引廻シノ内ニテ遠

一 室や六宮ノ粉也黒ノ顔色ノナキモ

理リヤト引廻シシロス

客ニ出カヤツトトテ
トフニツラオノトウ

又々オラノ意慕ノ後ト左ニテシホル
ワキノ意

イシノ意
去ナカラ内形見ノ物シツセ玉ヘト云

内ニ後見天付シシテノ意ノ子ニ持セル

但建物細ナキニ付
物為ノトキ建物細ナル

是ヨリ有シ形見ヨトテ主ノカニカニ云トテト云付シ

前ノカニテ見 方ニニアタヘタケレハトワキノ向テ

意ニ依エワキノ向テ居ル 客ニ是モト面下ケテ

向ノ向 思ヒソルト面上 折言ニ事ヲト

ワキノ 今モシケルト左ニテシホル 客ニ云

比城モナシコヒト立仰物ヨリカテ 獨廻シ

カメシキト云クニ是程云 連理モ扱柄ヲト

何事ナク右トリテシテ柱ノキウ行 左トリテ

同ニ心ノ行流ナラト云ク向 アアセシ程ムソト

ニ足ル 客ニ云ク ヨシカラハニハニ付ト云

客ノ意ノト云ク 去カシテトワキ

又亦カカシトニ是云テ 天候ヲ左ニ請取

ソヨヤケイシマウト云ク カエシニ云ノ女ノテ

心元はたとりてあきほけ度くろき下三原
物着 毛冠着し 物着母にて柱ノ先へか

法 アレ胡蝶ノトシカセテ開立廻り

帯ノ通り大巾をかきテトメツリ迄

色ノ前早へ向ニ足おし ちやこ向

生し味テト柏子

楊家ノトシカセ

津守
未だ人

本陣
下開

君キコシロツト角ニテ小く向り

后宮ニ定メ置玉ヒト角トリ 階を因定ノト左へ

廻り

又び鳩ニ只掲りト申ニテ右へ開

返り来り

右へ廻り

又ニリカニ相見タリト申ニテ右へ女お開

辭ニ詰シト口へ向ニ足おし

玄ニテモト海ナカラ

扇ヒロテ面へ履ヒ 眼ニ見トリテ扇とん

具文月ノ七日ノ夜ト左へ行テ足トメ柏子一ツフミ

君トカセシト右へ行 巴ノくニナルト右へ先へ去

開 篠ノ一ヨノト左へオシリテ扇ヲ前へおし

右へ女おテ開 名強ハ思フト右へ廻り

馴テ程フルセウ中ニトシテ柱ノ先ニテあへ開

サラ又別レハナカリセハト右へ入り込柏子フミ

十世モ人ニハトカシテ角へ扇ヲカシ左へ廻り

會者定離ソト太ハノルニテ左右ワチニ向

但互右テシロキニ向ニ是ツメテモ

羽衣ノ曲ト扇タミニナカラ右ニテクワロキ

テ住ノ足ニテニ向席ノ舞五匠

舞ノトメ小廻リニテニ向扇面ヲ置ヒワカ強

乙女子カトリテ扇上ニ袖ヲ捲ルト左右ニテ

之ハアト(サシ)テリ身ヲ向キモテ忘シキ音ト

海カ且シニ右トリテニテ舞ノキワヘクワロキ中ニ居

天冠ヲ脱テ左ノ手ニ持

但後見カテス付ス

シレシノカニサシト左トリテワキニ向ニ是カテ

早ニ極シニ是クワロケ眼アテトワキヲ見

ワキトテト女左ノ方ヘサマウニテワキニ寄リ

早極(ワキ)

早極前アメリニテワキノ方ニ向ワキヲ見テ

去ニテモノト扇ニテアガクマウニニツシナカラ

ワキノ方ニ向テ開君云ビ世トトニ居トニ居ル者

通(ワキ)

遠見ニエトモト面依也遠カ治ツトリト目付舞ノ

方ヘ角ヲテテ而立浮世ナシト角カケテ

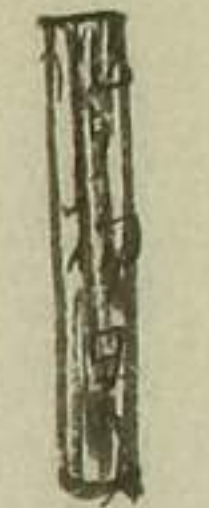
左トリテ

右メニテ 他リ物ヲ見上 ハカヤト他リ物前ヨリ内へ入

トヨバヤテテニト右トリテ向 フニ流ニテソト

左ニテシホリテカフトニ辰 母座

手トケテ也ニ立 ト、一リケル ト拍子フマウニ

向  左ト右ト他リ物ヨリ也テトメ

廟々ニ入

富士右殺

唯子方座付テ物線を西面先へ出ス

湯才ニ段歩テ幕上子方ニテ先橋ヨリテ向合テテ諒

地取キニ向へ 世ニ隔テケハト向合 湯ナレヤ位右ノト

右ラウケテ ^{幕ノ方} 右ヲ向テ 早近ツケハト

世ノ紐ヲトキ分又キ左ニ提 理ニアフマ目山ト

正へニ是也 都ニ早ク着ニケリト左トリ 例ノ通大小ノ方

向タ先極ニ向テニ是 足トメテ 返ニ子方ノ向

道行儀候テ之向

子方ノ向 都ニ着テトバ所ニテ留テ内行衛ヲ

尋子フスルニテト 子方ト入替リシテ柱ノキワニテ 幕内ニテ

イハ葉内アハシク、是ハ富エカエカリノ者ニテハ
富エ引合ヒラシテ捨リルヘシク、西ヘ向居ル
狂言カウクハ通りルヘトアテ、舞初メ入リニ後見居ル
ニテ坐拾ヒ但返見ヘ返スヘシ

舞居屋入例ノ如ヨリハ女左ヘヨリメニ足トメル時早豫ニ

一シテノアトヨリ舞初メ入目付柱ノ女前ニテワキ
向テ立居ル 但シテニテ柱ヲ越ス時分ハ捨初メハ

是ニハトワキハ 心カシカラト足カロケ 何ト富エハ

サタルトハヤトニ足カ コレハ社ト云

煙トハ茶ヌラト云ニ足カ 足トメ 今ハ歌クニ其カヒト

女カカリ ナキ跡ニ残ルト子方ヲ見 スハ返ハトテ

ナリ 早ノ初ノウナニ手ヲロシ 心ヲ磨メル(トワキノ

方向ニハ中込ヘカテトニ居テ 舞衣ヲみよニテ話ス

云ヘ向面シテ流 流ニシルキ鳥甲 左ノ傍見

持衣ノト右ノ方ヘ見テ云 激ノ主ハナキ初ノト 舞衣ヲ女シ初ヘ

カシテトクト見 又忘レ進フヨシナキト子方見テモ 神ナラヌ身ヲ恨ミ

カコナト西座シテ 舞衣ヲ脱ヘアテルマウニシテ ウツムキ

流舞テ 舞衣トニナキ 物着 水衣ヌキテ 舞衣ヲ着也

物着舞テ 太鼓ヲ見上 羞恨シマト流

更ニノ敵ノハソマト立 イササワト 右報シ

ツルクト行

一羞恨シマトシテヘ向 シテト一同ニ立テ他ノ物

方へ行時ツルくトセテシテノ右ノ袖ヲ再々ニテ
持トメテ也

前チキ事ツトアトヘカカリエテニテ居ル

一子方ノアトヘカカリ時分シテノ方向チカラエノ如
ニテアトヘカカリ 荒浅ニシヤイト左ニテナリ

ウメテノ人ノト子方へ 美ユトハリトウ 童カ者

ニハト子方へ 男ノ姿トウ 恨ミテ歌チラカメト事

ウラニシトテトニ足ツメ ヨスルヤ時ノト扇ヲ前

懐中シナカラ 子方ノ方ニ行ウシトヘニワルヤウニシテ

子方ノ方ニテ左ノ方ヲ子方ノウシト右ノ方ヲ

前ヘウケテ他リ物ノ前ヘ連行 櫛ヲ又キテ

子方へ後ニ 榎右トリテシテ柱ノ側ヘクワロキナカラ

扇又キテ右ニ持 袂ノ内ヨリヌサシヤト 後ニハイニシテ柱

行也

一子方 榎ヲ再々ニ持 弱被ヘ付テ スサシヤト右斗

ニテニツサシヤ榎ヨリノト云分見合テ 榎ヲオロシ

シテ柱ノ側ヘクワロキ子方ノ方向テ ウテヤ。ト 踊ニツ

フミテ西ヘハ。ヒメ。鼓ト右ヘリ込 踊ニツフコ 荒榎

コリノト 他リ物ヘ向テ見 左ニテシホリナカラ 汝ヘカカリ

又ニ返シノ内ニ西ヘニ走り 腹立。ヤトスエル 踊

ケシメル事ニ引替テトウクカケテ 足トメ

コハロ言葉モオホシ又ト踊左ノリ込テ也ニ右ハ足ヲ

掛 富エカ出ア来ルト見ヘテト 極上リノ方ヲ見

ヨシナノ恨ヤト 藤原^{懐中シ}ハナカラ 他リ物ノ例ハ

子方ノ持名後ヲ右ニテ取 モトカシト左ニテ

子方ヲ突ノケルマウニシテ ^{子方アトハカカリ} 也ニ地高ノ初ノリト居

也ニ他リ物ハ向 羯鼓^{後ヲ左右ハ分ケテ持}ヘ左右ノ後ヲ付

ヒウヲヒウロヲ^{程ノ秘}リウホヒ

右ノハツ羯鼓ヲテ込ヘリリ 達洋樂 左右左
行テ後ツニ奉トモ右ニ持テカシ右ハ行西也ス

形同以

樂ノトメ左右シテ用 持名後ヲハト右ヲテオト

引メニシテ後ヲ女前ヘカシ見 返シヨリ西ニカ

右後ノホウ火ノト用 天ニ上レハト西ノ上ヲ見

「右後ノホウ火ノト用」行ケリ 天ニ上レハト西ノ上ヲ見

誠ノ名エラロシニト右ヘウケ 後ヲ上テ西ニカ

カテ後ヲロシ 夕ヘスモシテトカシテ右ニ廻リ

ナカラ後ヲ左右ノカケテ持 四方ハバツトト

左右一時ニカスマウニあまカケテ 脇西面ヲ面キ

見廻シ テルカト見ヘテト 踊四ツツミ 花衣

左袖は用トキ袖モトシ
オス子モ引キモト左右ノ振ニ左ニシテ向用
又オシケシテ右ニ振りテ左ノ振ヨリ他ノ物ノ側ニシテモ
伶人ノ舞ナレハト左ニトリス小ノ音ヨリ他ノ物ノ側ニ

行 本鼓ノ役ハ元來ハユルト足トメ 名ノシメ

ムナシカラズト詠ヘカカリナカラ左右ノ指ヲ捨

類ヒナマナツカシヤト左ニテシホリ 切ニシテ位

ノ側ニクツロギナカク扇ヌキテヒロケテ持 向ニ向テ公

以君ノトキニ向ニ足ニケテ開 扱又千代ヤトシ掛

角トリ 泰平樂ヲト左ニ廻リ 目モ既ニ

一日モ既ニ傾キ又ト右ヨリメニシテ西ノヒシ見
扇ヲ左ノ肩ニ上テモカノハク西ノ上ニ見テ右ノ形ハ
カメムキ又ト 西ノ方ニ雲ノ扇ヲシテ
▲扇ノ合名時可有 借宜ハ節ノ時見ル

山ノ隈ヲ詠メマリテト 目ヲ離ラズ 一子ヲ返スト

左ヨリテ 女ニシテ一子キナカラハテ足トメ

ウレシヤクコソハト スル前ヨリ 他ノ物ノ方ニ向テ側ニツク行

思フ敵ハオクシト 扇タイラニシテ 扇ヲ一ツサ

サレテ音ヲ出スラント 女オカリテ 扇ヲ見

我ニハ晴ルハト ユラケシラナカラ 詠ヘカカリ 泣キ

ウエナカリケト 左ニテシホリナカラトニ居 扇タニ

是迄ナリヤト 向ニ 睨マテト 面トケ オラハト

同行程ノ方ニ角カケテ向
目ノ向ニ扇ヲ捨 女ニシテ 扇ヲ又キ 右ノ女ニテ
前ノ音ニ授ニ先ツ 又ツ

手宛ノ御ツトキ ^{手宛} 手宛ヲ持テ前ノ女左ノ
方へ下ツキ ^{後見の内ニ坐シテノ右ノ方ノ向ハカシ}
^{常衣多ク宛ニス}

我心ト云ハツキリトシテ 礼坐ト右ノ方坐ラ

見テ ^礼 手宛ニ持テカハル思ヒハカシ

シトトニテ控ノ例ニテクワロキ 又立返リを教

コソト ^{左トリ} 他リ物へ向 ^{ニ足程カテ} 見立テツ返リケルト坐ラ

みよニ持頭ノ上へ上テテ右程ツ見 礼見至

テソト ^{坐ラシロシ左ニ持} 右ノ方ニ足カ カエリケル

一 礼坐礼髪ト坐ラ持テ右トリ立ニ持セリへカ

忌シトト足トメ又立返リト左トリテア松ノ辺

とカ ウキ人ノ形見ナリケト見立テツ返リケルト

坐ラ ^{坐ラ} 手宛ニ持頭上へアゲテ他リ物ヲ見返シニ坐ラ

ソロシナラフアトへ足ヲカクワロケテ右ノ方ニ足カ

一 礼坐ト坐ラ持テ立 礼髪ト 踊四ツ踏

^{右ノ方} 礼儀ノ仰視後座ノ初ノ向 後見坐立カマウ思ク
坐見へカハル時坐ニ立テ右ノ方ニ踊有ルカ
右ノ方ニ坐ラ

富夫鼓 カウカウ

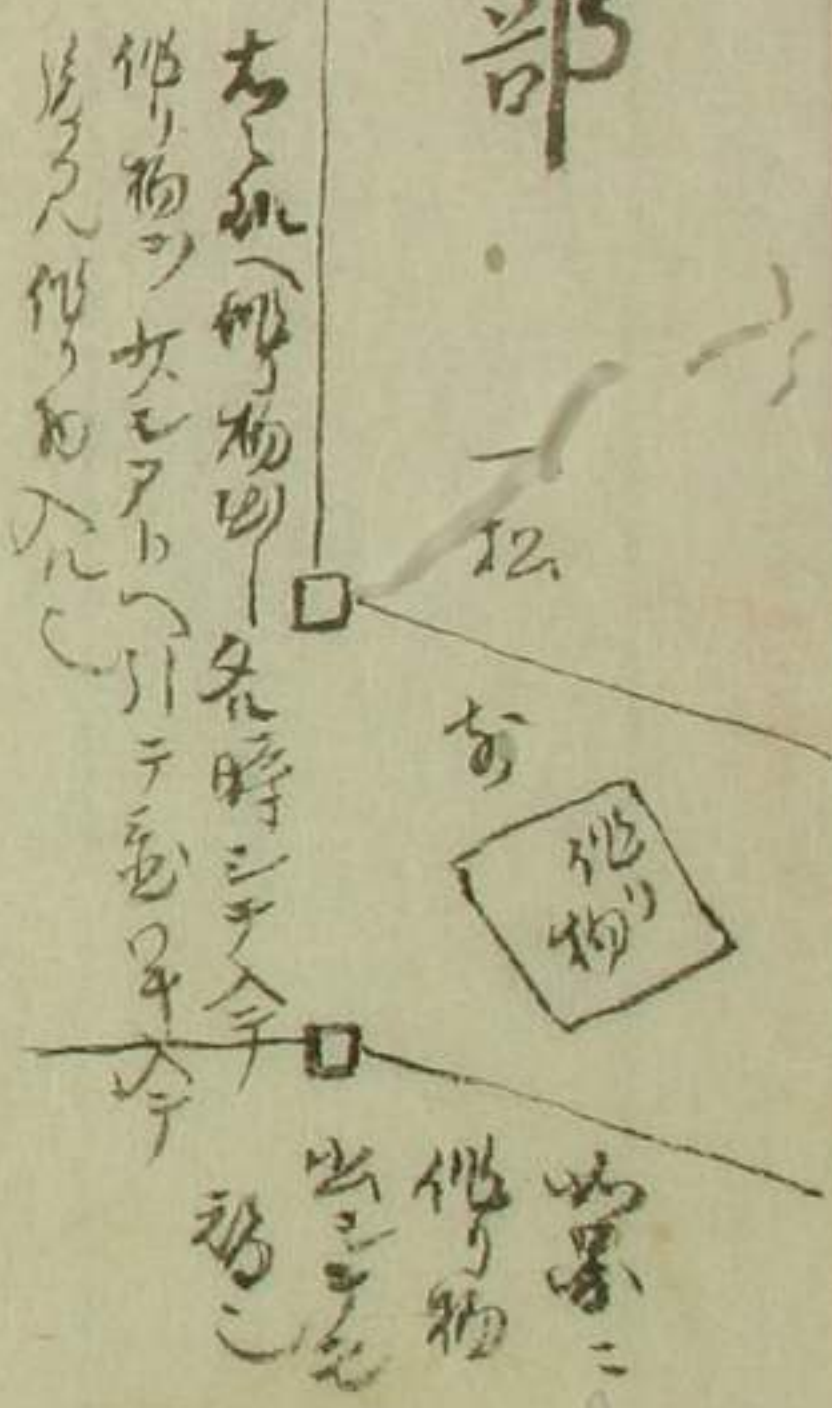
獨言良の鼓言ヨリ 樂ノカリヨリニ大少前テ正
ヒキ殊違ノ樂ヒラウラ ヒウロラリウホヒ
一ホトメ左右寺込本前テ用當

一持ケル撥ヲハト右ノ手ト引メシテ 府前ヘ坐シテ見ル
一返ヨリ正坐太鼓ノホウ火ノト用 一天ニ上ハト正ト上見ル
一祓ノ儀印シテ右ウケテ 府ヲ平ラニシテ 雲ヲ持正定ヘ
乃クト坐府前ヨリヨヨ見 一夕ノモシテトサテチチ
廻リニテ柱先年左トリ 左右ノ カウカウカラチカ
一四ノバツトト左を子時ニテ 脇正ノ面見イ見廻シ
一チルカト カウカウト 廻ワツフミ 一花衣正ニ左右テ開

一冷ノ舞ナレハト左トリテ大少前ヨリ正定行々鼓後
五束吹子ト呈トメ名ノ下今ニカラスト乃クト 廻ヘ下リ
カウカウ 一カ切ニシテ柱ノクノキニ正ヘ向テ左右ト呈
出 一は若神命ト口ニ向ニ呈出テ開 一板又七代ヤ鼓
角行也ガシニ角トリ 一恭平坐ヲト左ヘ廻リ 角ヘ
一目モ正カ名ギヌト西ノ方ニ雲ノ形ニ開シ 端ヲ泳ガリ
目ヲ離サズ見込 一子手返スト左ヲ引テチチ前ヘ向
ニツテ子手ナカラ出テ呈シメル 一娘トヤ今ヨリハト大少前ヨリ
正定ノ乃クト出テ正トメ 一思フ敵ハキタシト 府手ラニシテ

羯鼓ノ所ヲツキ 一カシテ音ヲ出スシトウサカリテ打
カシ折ラニカト見ル 一我ニハト強ノ軍ヲタラシトナリナカラ
ニウケシニウ〇ニ呈カ服ヲ持セハト カウカウト下ニ呈ル
一正定也ヤ カウカウ 一正定也ヤ カウカウ 一正定也ヤ カウカウ
角カケテ向テガ子手捨テ西面トケ長 一我心トハヨキト
面上ケル 一祝シシニトシテ角ヘ行 呈トメバニ及 廻リ本ノ
前ニテ正ニ呈カテ開ナカラ 府手ラニシテ 頭ノ上ヘ後ニ両手を
一見呈テ乃ト正先ヲ見トメ 一我ニ呈テラト 廻ル也

半部



一 渾井 兼後

一 後

縦大口

長條 兼後

人の物 兼後

アイニライニテ出物より一松ニテ正向足トメ也

オロカノ内僧ノトキハ

去ナカラト云

是ハクメ魚ノ

○是ハクメ魚ノ足トメ也

寔ニオクトロノ海ニ歩キハ

名ハメニテ足トメニテ足トメ

名ハ有ナカラト云

常ハオムロフ流ニハトニ足ツメ

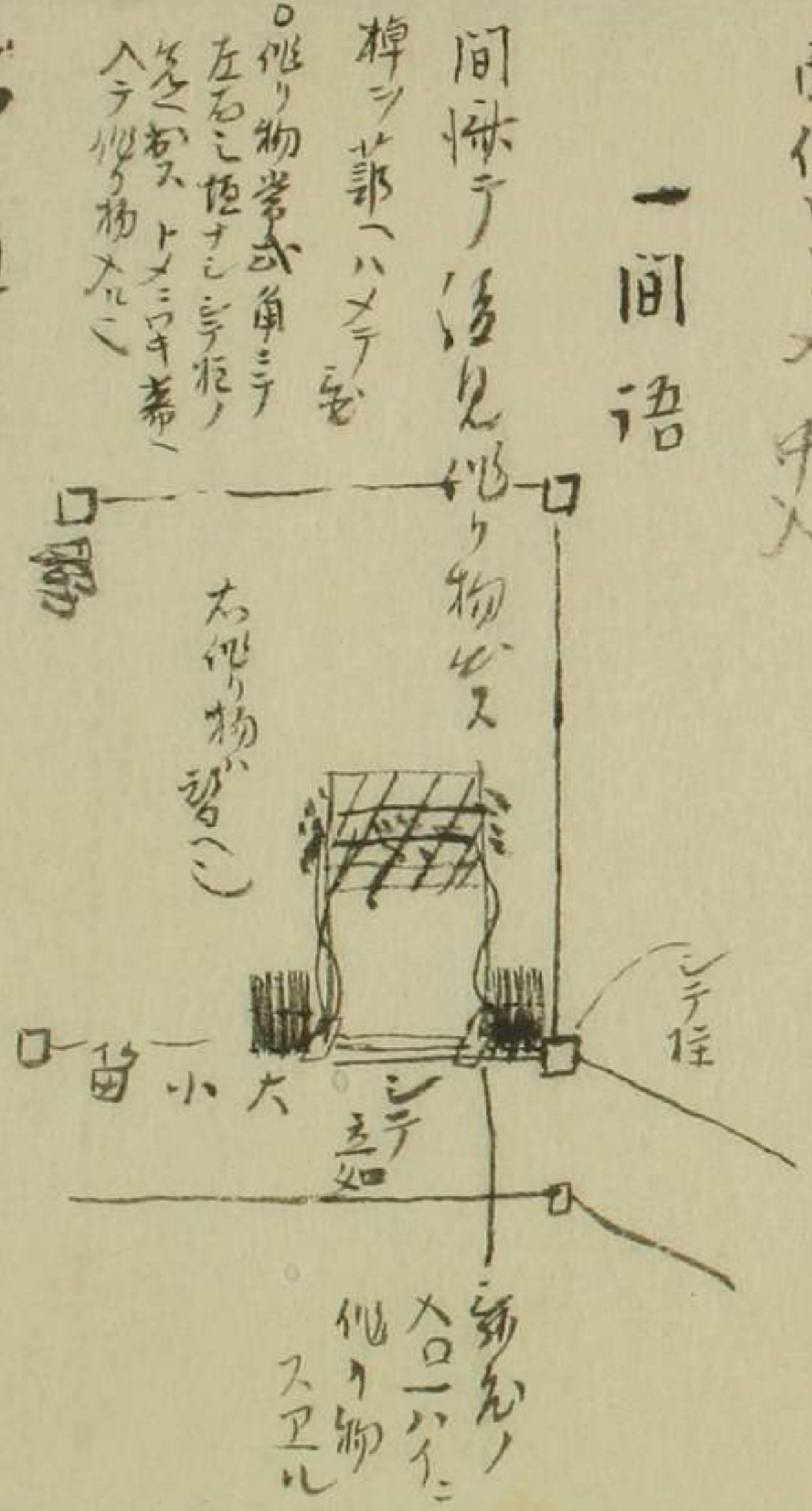
五條アタリト云

ソラ目セシニト右ツウケ 面氣ハカリト云ク向テ

マヨウ向カシカミカミカミニカシケリト云ク

面依トメ中人

一 間語



右ニ通り他物也テ口中間ヒノ流ニナル

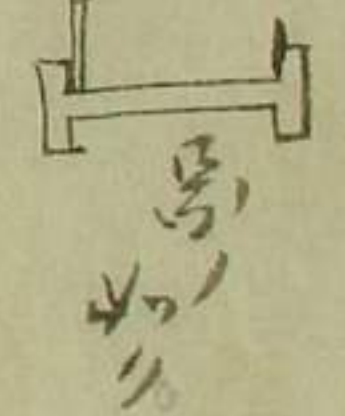
後ロウイ手鐵ニテカ右果ノ必ク他物ノ前ニテ向

足トメ也 但足並イカミアル共石取

法トフヘキカトウラヘカラト思ヒト云ク 夕日ノト

右ノツキテ先棹ハ左ノツキカケテ女上ル 以時

○常式ノ送りおハ安上行の角心
後見俾ニテ都ヲ上テ舞俾ヲ
詠ノ意ハアテトメテク
立見の姿ト他ノ物ヲ向ハカテニテ正々公果
後トニラスト左トリ
中ト大ふおのり向



中
カモモトキトワキ向右左年ニテカラトニ居
上ハノ前
花ノ影ヲ舞テ系テスルトトニ居テ看シヨ
上ケテモ

右トメワキ向ニ是ツメ 形テユワト 宿夕ハミナカラ
右ハクワキノ序ノ舞
考式ノ形
向テ袖ヲカツキ法ハタラシクト他ノ物
抱俾他ノ物ハカシテ舞テ下ハイル候スルニ
下ヨリ

ワキ舞 ホクク見ハト左右ニテ向ハカトメ
花ノ夕白花ノ如クト 踊ニツ踏花ノ夕白ト
アト(キ込)テヒキキ ヲ丹ノ宿リハトワキ

常ニハ吊ヒト女ハカテ オハシニヒトト用
○常ニハ吊ヒト早ハ命ハミ中程モお足メオハシニヒト早ヲカシ
夕白ノ夕ノ名ト云ハカシ 流モシキリニト列
右ニ是ハカテ舞ニテ舞 ツケ候ル高島ト東ノ
方ハ云ノ廟 アカニモぬヌモト早ハ向
唯又先ニトワキカノ方ハ遠ク行マウニテワキノ
前ニテ右トリテ 夕白ノ名リト 舞他リ物ヲ
見返シノ明ヌ先ニト目付位ノ方ハ左トリテノ行
目付位ノ方タリヨリ 他リ物ハ其向ニテ他リ物ヲ
へ行 又モ花ノ内ニテト他リ物ノ中ハ左右ト入
法見

後見俾テ都ヲ上テ舞俾ヲ
詠ノ意ハアテトメテク
立見の姿ト他ノ物ヲ向ハカテニテ正々公果
後トニラスト左トリ
中ト大ふおのり向

シテ揚色リ一行テ他リ物ヲ法見見ノ前ハ引テ
ワキ舞ハ大テ他リ物ヲ入ル
○又モ都ノ内ニテ送りおハカシ高島ト東ノ方ハ
左

御座成

唯子方地儀座付テ母出ル地儀ノ前ニテ角カケ向テ
下ニ居 功有ニルニ

母座石持

鬼ニ因テ去他ヨリ 因テ中守文懐中スル

功有ニ居坐テお 因テ先ハお

携ヒリノ松ノアサリニテトメ五人向合功有儀

地儀有ニ五人九西面

因テ右方

口ヨリ右口トトリトニ居ル儀
シテモ

切切ニ五人向合居リノ切切ニ因テ中守西面

燈ニハ九アツマニトニ是程 功有急先右トリテ

元ノ処ハ三足お 居ニ鬼ニハ向カニ居リ儀座付テ

五人九西面 先ニ急カツテワスルト急ニ

向テヨリ急カケ入シテ炬ノ先ニテ母ノ方向

能不合イカニ急カケテ 但鬼王ハ後見座付カ

ニテ西面

母 一坐テノ方向テ 何急カケテトカト能不合儀

以テ来リ出ト坐テ急カケ西面出テ母ノ方向

急カケ急カケノ居花魁ヨリ五人トモ母ノ方向下ニ居

西面ツツ 三ニシハ八日ノ夜 急カケ 五人トモ急カケ

因テ

一又四座ノ物ヲ持テ急カケテト急カケテ急カケテ

急カケ左ニ持右ニ持懐中ノ守ト急カケ急カケト

急カケテ立母ノ急カケテ下ニ居 急カケ急カケ急カケテ

母ノ急カケ急カケ急カケ急カケ急カケ急カケ急カケ

母 一守ト急カケ左ニ持テ 急カケ急カケ急カケ急カケ急カケ

急カケ急カケ急カケ急カケ急カケ急カケ急カケ急カケ

急カケ急カケ急カケ急カケ急カケ急カケ急カケ急カケ

急カケ急カケ急カケ急カケ急カケ急カケ急カケ急カケ

母 是く久我宮新ノ寺へ参りぬト家也云々之何
筆ノクテドモト志々ノ記先廟ノ上(文ヲノセテカス
因テ
一水タキノト記テ立母ノあかりヲニ指文宗

一廟ヲ左ニ持 後ナカラニトシホリナカラ鬼也
因テ五人立テシホリナカラ栲色リ(カシ佐
茶入

母 一後ナカラニト五人一同ニシホリ記持テ立何事
毎ク茶入

母 茶入

一丈志ラ地徳ノお(おん

シテ何事ナクハシテ拒ノ先ニテ名不

雑存シ焼ハヤト名ト違評 史ヨリ云々トリ

此ニ地徳ノ方向トニ居クワキヤ也

一ニテノ方ヲ向テイカニ茶門ノ下ニ
繩トリニ人トカ栲色リ(面) 立也ヒ也

此ノ方ヲ向テイカニ茶門ノ下ニ

友根ノト一セイ記カニ西面ト居ル

祐宗ハ何ノ名ノ内ト 伊奈ノ向 小名ヲ上ケテ

糸ラセント居立テ伊奈ヨリん也ニえノめクワキヤテ

クワラ小ワカ 杉林 麻拾 水衣肩上ケ長カ持

右ツキテ 四面 栲色ト記 惣勢者浴衣ノ内ト長カ

前ハカシツキテ先ヲ見 二尺ノ長カカシカシニリト

長カ友也ニ持テ先ヲ後ノ方ニテ頭ノ上ハ

亂四面ト居ル 心得玉(ト) 長カ上カシ

伊奈ヲ見ル 亦テヲ用ヒト志ヨリ栲色ト長カカ

五也シカシテ長カカシカシナカラシテ拒ノ

キワトリ 栲色トト記ハタラクトトトリ 高申程

三テ

後キリトトビリテ長カツキ右ラリテ立流ッ見テ
居ル

一 係糸
射トレヤト左ラリメニ立流ラフリ返リ見ル

立流ニ人左カラヌク 係糸ニ任由ニ後見ノヨリ

切テ入ル 繩トリニ人立見ルノ面トニ居ル
むをカ換繩ヲ持テ居ル

是田ノ小字カ進シカルツト是田シテ柱ノ先ニテ右カラ

カニル上ト下ニテカ合セ花替リ足ヲハラヒテ並ニ

切ル並ニ西面(向長カツキテ)繩ハ紗巾ノ新ト下

流 只今ノ所原シセト右ラリテ立流ノ方ヲ見

特仰ノ係糸ニ不差有トトニテツカ右セ花替リ

足ヲハラヒテ花替リ 室ヤカシコニ仰互ラシト長カ

おシ流マシテ柱ノキワと相テリ

係糸

一 足ハラフトキお上リ花替リテ並ニ右カラ上流シヨリ

移ヨリテ松アタリトイカル 是係立見ノウロヨリ

切テ入ル

是處ナリト長カ換檢ト長カツ換檢テ並ニ立流

おをりり流へ右ヨリ 水手ヲニ向ツテト

シテ

此トニ居テ合書手シバ内流見出シカス

アヒラシケシニツナヌカレト 繩ヲ右ニ持テ左ノ有ノ人

カシテソリ返リシテ流ノおヨリト入流テ

下ニ居ル

一 繩トリニ人おをりおシテ流レロノ左右ニテ繩ヲ

カケテ持テ 是係立見ノウロヨリ 立流ヲ入

取

赤頭時王之段橋カリ一行を得て定か不定ナリトカ切アリ
後一松尾定光ノ頭ヲフルトシテ其ノ後トカ切アリ
海人 藤右三将 此ノ左ニ提也

一日イ半紙ニ展メテ幕上カシウケ板解シ也シテ
其ニカレ常加メシテ位ノ先ニテ足トメ徳カス

務部ト足カロケル 何ヲ見ルメ列フヨトニ足ツカ

以海カケテト右ツウケ エノ、室ニ故ラント左右左ト

カ返シニ面ノ解也ス 寸ハ以備ノ海トシテトウケ

ワキ行ニシテ 痛ハシヤ旅常トウケ 我信屋ト

石思儀ヤ玄ノ上人ツルモ百レハトウケノ 列ニテ

モナレバミルシヨレハトミルヲテヨトセリテアミルメ

ノ下ノ海ツリエテ ^{ワキカシ}ナカラニ是也

イヤクハ秋ノ波ニテハナシトカシタレトウツリテ
ニ是カロケル

極ハ月ノ波トウケ 首モ玄櫓ニアリトウケ

カツキ上シモトウケノ向テニ足ツカ アニ四月モ

西ノ返シヨリウケカケテ引 此頃オニ右トウケ

リウロキニルメヲ控 西ニ左トウケ 臨正面ノ方

向フツトツリ也ニ 列フヨトツルトウケ

皆ツト足トメ 依ハ是ツロケ正而 可シト

又アレ盛望ヨハ見台柱ノ方ノ先ツカニケル

又モナル波トウケ 影シキニ波トウケテトウケ

早付ニウケ 玉中ニ釈迦ノ儀ニシテトウケ 西向流

面ツ向フニツムカスト本テトウケ 早ノ海ニウケ

松ノ海ノ味ハウケノカレハ其ノ由テトウケ

ウノ房崎ノ由事ニテトウケ 子方ノ向ニ子方ノ向

極ハの身ノ上ニテハヒケルヤト云ナカラモ年ハあテ
荒便ナヤトト下ニ居モ此ニ面テテ踊トニキ
廟ノ儀ヨリカシテ極ハ然レキ海人ノ子ト子方
向合 ヨシトテモハキ本ニトカ切ニ面テ
見ハ身子ホリテト子方ノ向合 童子テレホシトヤ
カラテモ徳ス我神ヲト面ト下トリ 童子テレホシトヤ
子方シ見也 赤ナノ事ヤト左ニテシホリ 面上ニ居
カ切ノ内ニ多シカモ カル貴人ノト子方ツ見ル
縦ハ日月ノト云 我ホモモ海人ノト子方ノ向
コトモカロヤ我者ノト子方ノ向テ見 故嘆門ノト
云ハカ主ノ為ツハクミスニシト面伏セル 軍ノ付ニ面
カラバ伏ツテト云 其時海人ノト極上ニ居テ云
子細アラシト館堂ニ玉ヲトクハ極ハ我子トニト
云ハ

其時人ニカシソト居立左ニテカシト云ハ向引上ケ
耳ハト約束シト改リ 一ツノ利銀ヲ扇ラ上ヨリ
右ノ方ハカシ右ノ方ヲ引テ扇ヲ見 又キ持テト
四面ヲ執中ニテ見也 彼海人ニ花入ハト
左テ四面先痛キリカ也ハツクトおチノリ也 踊ニツフニ在ニ
下トリテ引 空ハツニ雲ノ波ト云見上ケ
煙ノ波ヲシノキツトト左ハ廻リ大少おニテ云ハ
カヒニシクトオシカシテワケ入テト四面ノ先ハ
直下見居ト 解ラセテ見也 余ノモノハアモリ
直下トハトト下見心ニ在存也 解ラカケルハヨカラス
直下トハトト下見心ニ在存也 解ラカケルハヨカラス
シラ又ト面ト右ハ廻リ 邪愛ハイカシラスト
シテ柁ノ先ニテ云ハキツト向是トメ 取捨ニ事ハト
引テ不定叶リト 踊カク踏 カクテ館宮ニ至リテ

左トリテハ彼ノ前アリニテ 宮中ツ見レハト
左ツ引メニシテ 月台柱ヨリ内ノ上ツヨリ見
エテハノ玉塔ニト目ヲ放カズニ 舟程ニカ行セリ
彼ヨリ区ニトムルシテ見テヒヨキ 香花ツ
海へ舟ヲ送ルハト 月台柱ノあとニ 角ツル板ニ行
カリ 足下メ 一節並居キト 別ニ角ノ向フ
目ツ付テ 主外 窓急 舞ノ口ト 左へ見出シ也
左へ廻リ 子方ノ前アリヨリ 左方へ向テ行
カスカ 恩也ノト 之向 故陣ノ方リ也ニキト
面伏テ 足下口ケ 又ノ波ノアツキニト 脇面ニ
向
をク見ナカラカ 秋子ハアルニト 足下メ 又佐海モ
カハスラト 別ニ足下見 云テモ以任ニト

右へ廻リナカラ 左ニテシホリシテ 柱ノ先ニテ 海ツミテ
立シカト 西面テニ足カ 又思ヒ切テト 舟カニ
面ハキリトシテ ノウツ合セト 脇面ノ方へヒヨキ
合掌 南ニヤ志 海幸ノ 観音後 塔ノカヲ
合セテ 柱モトテト 廻ラフニ 右側ノ 利紐ヲト
府ツトヨリ 前へズカリト 前ナカフニ 是カテ 府ツ見
額ニアラテ 府ヲ 額ノ上へ 置ニ 上テ 女カニムケ
左ツ引テ 一重身ニテ 龍宮ノナカニ 龍大レハト
月台柱ノ前へツカト 一足 龍上リ 海ツミテ
左右ハ 巴ツトリ 退カケルト 立テ 脇面ニ 面をイテ
見廻ナカラ ヒラキ 具 際ニト 上ヨリ 西面先ヲ
見出 右ニテ 扇ヲ ヒロケテ 西面 入行トニ 是
ナカラ 女ニテ スクフ 扱ニシテ 玉ヲ 持リ 在ヒニテ

手ヲカヨシテ子方ノ向アリ以テ足カ足トメ
彼ノ底ニ況ミケリト正面向ケテ也トトリ
之リ 立波ノトニト面ヲ也右トリ中ノ

赤頭時 茶折半切面橋姫

お徳を我に應じし幕上をウツテ新シキもか
携りしア松ノアクリニテ左ニテサシ左ノケテ也
宗有知ノト極 以テ經ニ引テト經ヲ上ヨリ也左ノ足
ヤリテ左ヲ引オシテ經ヲ見ル 爲道ノト也也シ 今ノ世界ニ
生ラウクルト子方ノ向猶も形欲モ玉スニ足カト開
深達罪漏相ト左トリ大小ノ向ヨリ西向也家ヨリ
少先ハ右ヲフシト行 右ノ子方ヨリ也テ經ヲ
ヒコケナカラ開 右ノ身ヲ引ルニ經ヲヨム 經ヲ
ゲシクゲウト依ヘシカリニテ 宗有知ノ内經マト感キ
ナカラ開右ヨリ先脚ニ依テテ笛イロエ吹シ
經ヲ左右ヨリ巻テ左ニ持子方ノ側ニ行テ

經ヲ依テ三足程是リウケテ子方ヲ見右トリテ
ノウロキニテ極ノ方ニテ子方ノ向左右左ト也
左右左 ト老ヲ額ニハクニウカリト止メヒヤウラウケテ
西面ノ開ナカラ道深 早解カ足トメ左右折開
折區ニ立テテ各々經ト極ナカラ子方ノ向也ヨリ
左右ニテ西ノ人與非人トオハシテ開カイヨウケニト
角ニリ抱合ニテ左ノ廻リカケ 極コソ 諸列志也
号シト子方ノ向ノ行ヨリ左ヲリテ子方ノ見
毎年ハ講ト左ノ廻リニテ極ノキヨヨリハ子方ノ見ニテ
銅鼓ノ勅行ト子方ノ行ヨリ也 西ノ開テ 府ヲ
石ニ持 佛仏慈目トオシテ右ノ廻リニテ極ノ
キワノ行ヨリ小廻リノ開 右ノ袖区ニ右ニ足
おウケタマハルト 踊ニツフニ 袖モトモ 漸タニ
入ル



